

東京国立文化財研究所要覧

1966—1967

昭和41年度—昭和42年度



東京国立文化財研究所本館

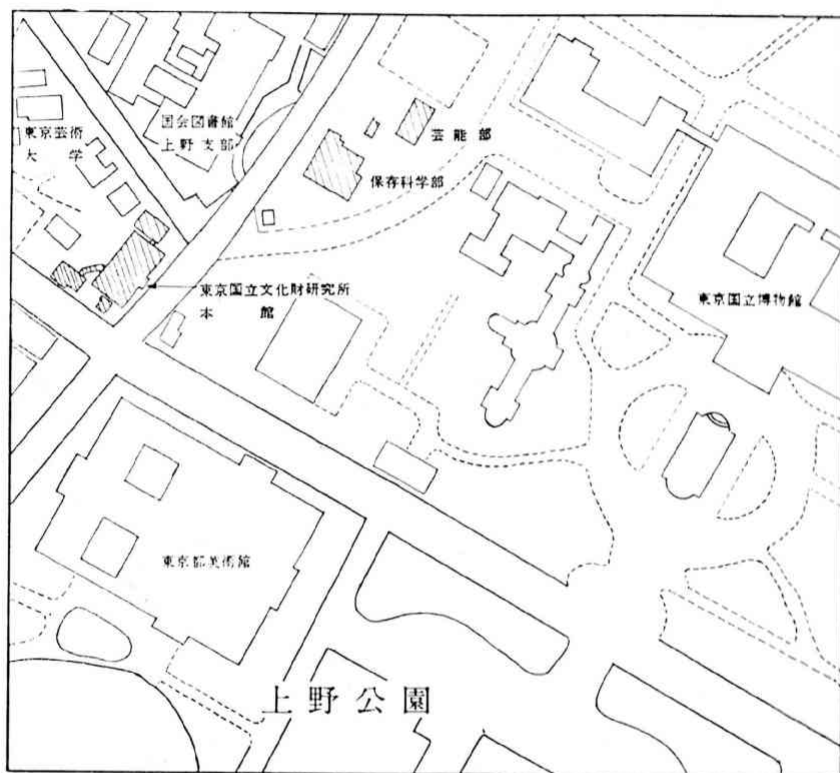


東京国立文化財研究所芸能部庁舎



東京国立文化財研究所保存科学部庁舎

東京国立文化財研究所建物所在地図



目 次

I 沿 革	1
II 機構と規模	5
1 機 構	5
2 土 地・建 物	8
3 予 算	9
III 職 員	13
1 定 員	13
2 現 職 員	14
3 旧 職 員	16
IV 調 査 研 究	18
1 美 術 部	18
A 研 究 題 目	18
B 調 査 研 究 活 動	25
C 主 要 研 究 業 績	33
2 芸 能 部	40
A 研 究 題 目	40
B 調 査 研 究 活 動	43
C 主 要 研 究 業 績	52
3 保 存 科 学 部	57
A 研 究 題 目	57
B 調 査 研 究 活 動	64
C 主 要 研 究 業 績	74

4 受託研究	79
5 出版	82
6 公開學術講座	86
7 開所記念日行事	87

V 研究施設 88

1 蔵書	88
2 資料	88
3 機器・設備	89
4 黒田記念室	92
5 閲覧室	93

I 沿 革

本研究所は、昭和27年4月1日発足したのであるが、その前身であり母胎となったものは、昭和5年に創設された帝国美術院附属美術研究所である。

この美術研究所は、大正13年7月、故帝国美術院長子爵黒田清輝の遺言により美術奨励事業のために出捐した資金で遺言執行人が選択決定した事業である。すなわち遺言執行人代表伯爵樺山愛輔は、故子爵の遺志にしたがってこの資金で行なうべき事業の選定を伯爵牧野伸顕に一任した。牧野伯爵は帝国美術院長福原隼二郎および東京美術学校校長正木直彦とはかって諸方面の意見を徴し、またわが国美術上の必要に照らして次の事業を行なうこととした。

- (1) 美術に関する基礎的調査研究機関として美術研究所を設けること。
- (2) 黒田子爵の作品を陳列して同子爵の功績を記念すること。
- (3) 前二項の目的を達するために適当な建物を造営すること。
- (4) 事業成立のうへは一切これを政府に寄附すること。

昭和元年12月 この事業を遂行するため委員会が設置され、東京美術学校校長正木直彦が委員長に就任し、美術研究所事業について東京美術学校教授矢代幸雄、黒田子爵作品陳列について東京美術学校教授久米桂一郎、岡田三郎助、同和田英作、同藤島武二および大給近清、建築造営について東京美術学校教授岡田信一郎、会計事務について遺言執行人打田伝吉を各委員として事務を分掌進行させた。

昭和2年2月 美術研究所準備事業を開始した。

同年10月 東京市上野公園内に鉄筋コンクリート造、半地階2階建、延面積1,192m²の建物1棟を起工した。

同3年9月 前記の建物が竣工したので、美術研究所開設のため必要な備品、図書、写真等の研究資料を設備し、また館内に黒田子爵記念室を設け、同子爵の作品を陳列した。

同4年5月 遺言執行人代表者樺山愛輔は、建物、設備、研究資料等一切の外に金15万円をそえて帝国美術院長に寄附を願い出た。

同5年6月28日 勅令第125号により帝国美術院に附属美術研究所が置かれ、東京美術学校校長正木直彦が同研究所の主事に補せられた。

同年10月17日 美術研究所開所式を挙行了た。

同7年1月 美術研究所の研究成果発表機関誌として、定期刊行物「美術研究」を創刊した。

同年4月18日 株式会社朝日新聞社より明治大正美術史編纂費として本年から向う5ケ年間毎年5千円、合計2万5千円を帝国美術院に寄附したいとの申出があった。

同年5月26日 帝国美術院はこの申出を受理した。

明治大正美術史編纂委員会規程を設け、美術研究所は明治大正美術史の編纂に関する事務を行なうことになった。

同9年10月18日 毎年10月18日を開所記念日と定めた。

同10年1月28日 鉄筋コンクリート造、2階建、延面積129m²の書庫が竣工した。

同年4月 「日本美術年鑑」の編纂事務を開始した。

同年6月1日 勅令第148号により美術研究所官制が公布された。

研究資料閲覧規程を制定し、閲覧事務を開始した。

同12年6月24日 勅令第281号により美術研究所官制中改正の件が公布され、従来、帝国美術院に附置されていたのを文部大臣の直轄に改められた。

同年11月29日 美術研究所長職務規程、美術研究所事務分掌規程が制定された。

同13年2月12日 木造、平家建、延面積97m²の写真室1棟が竣工した。

同19年8月10日 黒田清輝の作品、ならびに写真原版を東京都西多摩郡小宮村谷間家倉庫に疎開した。

同20年5月28日 美術研究所の図書、諸資料全部を山形県酒田市本町1丁目本間家倉庫3棟に疎開した。

同年7月～8月 酒田市本間倉庫に疎開した図書資料を爆撃の危険を避けるため、さらに酒田市外牧曾根村松沢世喜雄家倉庫、観音寺村村上家倉庫、大沢村後藤作之丞家倉庫にそれぞれ分散疎開した。

同21年3月29日 酒田市疎開中の図書、諸資料等の東京向け発送を終了した。

同年4月4日 酒田市疎開中の図書、諸資料等が東京に到着し引揚げを完了した。

同年4月16日 東京都西多摩郡小宮村谷間家倉庫に疎開中であった黒田清輝作品なら

びに写真原版の引揚げを完了した。

同22年5月3日 美術研究所官制が廃止され、国立博物館官制が制定された。美術研究所は同館の附属美術研究所となった。

同24年 本年度から科学研究費により光学的方法による美術品の鑑識に関する研究が開始された。

同25年8月29日 文化財保護法の制定に伴い、美術研究所は文化財保護委員会の附属機関となった。

同26年1月31日 美術研究所組織規程（昭和26年文化財保護委員会規則第5号）が定められ第一研究部、第二研究部、資料部、庶務室が置かれた。（昭和25年8月29日から適用）

同27年4月1日 東京文化財研究所組織規程（昭和27年文化財保護委員会規則第4号）が定められ、美術部、芸能部、保存科学部、庶務室の3部1室が置かれ、美術研究所組織規程が廃止された。

同年7月1日 芸能部研究室として東京芸術大学音楽学部邦楽科教室2室を同大学から借用し、研究を開始した。

同28年4月26日 保存科学部研究室は、国立博物館保存修理課保存技術研究室として昭和22年発足以来、東京国立博物館地階の1室に置かれていたが、同館構内の倉庫132m²を改造のうえ移転した。

同29年7月1日 東京文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和29年文化財保護委員会規則第1号）、東京国立文化財研究所となった。

同32年3月28日 東京国立博物館構内に木造、外部鉄網モルタル塗、平家建、8m²の保存科学部の薬品庫が竣工した。

同年11月30日 従来の2階建書庫のうえに更に1階を増築3階建とし、増築分延面積71m²が竣工した。

同34年4月30日 国立文化財研究所研究受託規程（文化財保護委員会告示第14号）が定められ、この年度から受託研究が開始された。

同36年9月16日 東京国立文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和36年文化財保護委員会規則第1号）、従来の庶務室は庶務課となった。

同37年3月31日 東京国立博物館構内に保存科学部庁舎として、鉄筋コンクリート造

2階建延面積662m²の建物1棟が竣工した。

同年7月1日 東京国立文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和37年文化財保護委員会規則第1号）、新たに保存科学部に修理技術研究室が置かれた。

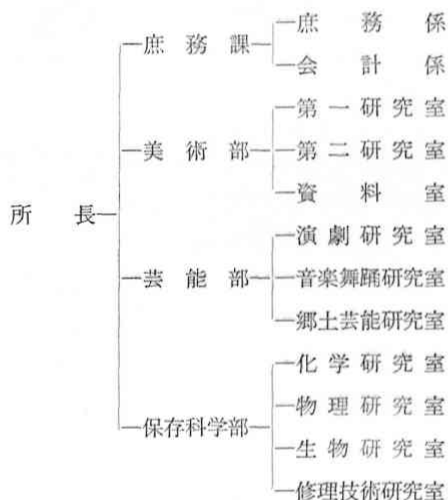
同年7月20日 芸能部研究室は、保存科学部庁舎の竣工に伴ない、旧保存科学部庁舎に移転した。

なお、昭和5年創設当初は所長は置かれず、前記のとおり東京美術学校長正木直彦が美術研究所主事となり、次いで同6年11月25日同校教授矢代幸雄が主事となった。こえて同10年6月1日美術研究所の官制が公布せられて同日東京美術学校長和田英作を所長事務取扱となり、同11年6月22日初めて矢代幸雄が専任所長となった。以後同17年6月29日田中豊蔵（所長事務取扱から同22年8月16日所長に）、同23年5月11日福山敏男（所長代理）、同24年8月31日松本栄一、同27年4月1日矢代幸雄（所長事務代理）、同28年11月1日田中一松らが所長となり、昭和40年4月1日からは関野克がそのあとをついで、今日にいたっている。

II 機構と規模

1 機構

東京国立文化財研究所は、1課と3部より成り、庶務課は、庶務・会計の2係に分かれ、部は研究の便宜上、これを美術・芸能・保存科学の3部に分け、各部には室が置かれている。



関係法規

文化財保護法（昭和25年5月30日法律第214号）抜すい

（附属機関）

第20条 委員会の附属機関として、文化財専門審議会、国立博物館及び国立文化財研究所を置く。

（国立文化財研究所）

第23条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表

を行う。

- 2 国立文化財研究所の名称及び位置は、左の通りとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都
奈良国立文化財研究所	奈 良 市

- 3 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。
4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は、委員会規則で定める。

(従前の国立博物館)

附則第124条 略

- 2 この法律に基く東京国立文化財研究所は、従前の国立博物館附置の美術研究所の所掌した調査研究と同一のものについては、「美術研究所」の名称を用いることができる。

東京国立文化財研究所組織規程(昭和27年3月25日文化財保護委員会規則第4号)

(沿革) 昭和29年6月29日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和36年9月15日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和37年6月22日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和38年4月10日文化財保護委員会規則第3号改正

(東京国立文化財研究所の組織)

- 第1条 東京国立文化財研究所の所掌事務を分掌させるため、庶務課及び次の三課を置く。

美術部

芸能部

保存科学部

(庶務課の所掌事務)

- 第2条 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 別に文化財保護委員会から委任を受けた範囲における職員の人事に関すること。

二 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務にに関すること。

II 機構と規模

- 三 経費及び収入の予算、決算その他会計に関すること。
- 四 行政財産及び物品の管理に関すること。
- 五 職員の福利厚生に関すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

（美術部の三室及び所掌事務）

第3条 美術部に、美術部の所掌事務を分掌させるため、第一研究室、第二研究室及び資料室の三室を置く。

- 2 第一研究室においては、わが国の上代、中世及び近世の美術並びに東洋美術の調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 3 第二研究室においては、わが国の近代及び現代の美術並びに西洋美術の調査研究並びにその結果の公表に関する事務のほか、黒田記念室に関する事務をつかさどる。
- 4 資料室においては、美術研究資料の作成、収集、整理、保管、公表及び閲覧並びに美術研究資料に関する写真の作成及びその原板の保管並びにエックス線写真、赤外線写真、紫外線写真その他の特殊写真による美術の研究に関する事務をつかさどる。

（芸能部の三室及び所掌事務）

第4条 芸能部に、芸能部の所掌事務を分掌させるため、演劇研究室、音楽舞踊研究室及び郷土芸能研究室の三室を置く。

- 2 演劇研究室においては、演劇及びその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 3 音楽舞踊研究室においては、音楽及び舞踊並びにその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 4 郷土芸能研究室においては、郷土芸能及びその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

（保存科学部の四室及び所掌事務）

第5条 保存科学部に、保存科学部の所掌事務を分掌させるため、化学研究室、物理研究室、生物研究室及び修理技術研究室の四室を置く。

- 2 化学研究室においては、文化財及びその保存に関する化学的及び分析的調査研

究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

- 3 物理研究室においては、文化財及びその保存に関する物理学的調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 4 生物研究室においては、文化財及びその保存に関する生物学的調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 5 修理技術研究室においては、文化財の修理に関する科学的、技術的調査研究及びその結果の公表に関する事務をつかさどる。

(所 長)

第6条 東京国立文化財研究所に所長を置く。

- 2 所長は、所務を総理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和27年4月1日から施行する。
- 2 美術研究所組織規程(昭和26年文化財保護委員会規則第5号)は、廃止する。

附 則(昭和29年6月29日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和29年7月1日から施行する。

附 則(昭和36年9月15日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和36年9月16日から施行する。

附 則(昭和37年6月22日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和37年7月1日から施行する。

附 則(昭和38年4月10日文化財保護委員会規則第3号)

この規則は、公布の日から施行し、昭和38年4月1日から適用する。

2 土地・建物

東京都台東区上野公園12番53号の建物を本館とし、同13番9号の建物2棟をそれぞれ保存科学部庁舎・芸能部庁舎として使用している。

本館は、昭和3年9月に竣工した旧美術研究所の建物で、所長室、庶務課の事務室、美術部の各研究室及び黒田記念室等となっている。なお、本館敷地内には書庫、写真室及び車庫の3棟が附設されている。

II 機構と規模

保存科学部庁舎は、昭和37年3月に建てられ、すべて同部の各研究室、実験室及びアトリエとなっている。

芸能部庁舎は、東京国立博物館の建物を一時借用しているものである。

本館、保存科学部庁舎及び芸能部庁舎の敷地及び建物の面積は、次のとおりである。

建物の名称	建面積	延面積	構 造	備 考	敷 地
1. 本館庁舎	m ²	m ²			m ² 1,457
本館	468	1,192	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階		
書庫	68	205	鉄筋コンクリート造 地上3階	渡廊下を含む	
写真室	118	118	木造、平家建	渡廊下を含む	
車庫	27	27	木造モルタル塗、平家建		
2. 保存科学部庁舎	347	672	鉄筋コンクリート造 地上2階	薬品庫を含む	東京国立博物
3. 芸能部庁舎	132	132	木造、平家建	東京国立博物館から借用	館から借用
計	1,160	2,396			1,457

3 予 算

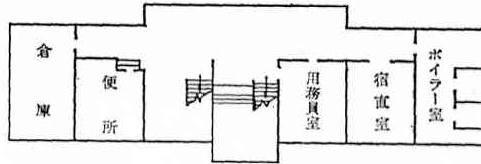
歳出予算額

費 目	人 件 費	事 業 費	合 計
年 度	千円	千円	千円
昭和41年度	48,246	21,881	70,127
昭和42年度	55,136	32,411	87,547

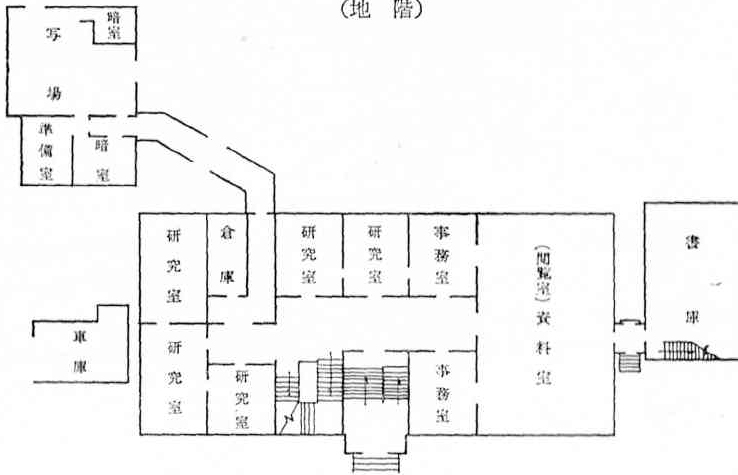
科学研究費補助金交付決定額

種 別	機 関 研 究		各 個 研 究		総 合 研 究		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
年 度	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
昭和41年度	1	1,050	3	360	1	1,200	5	2,610
昭和42年度	2	3,980	5	620	2	2,400	9	7,000

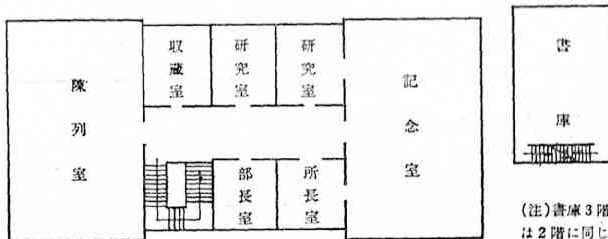
本館



(地階)



(1階)

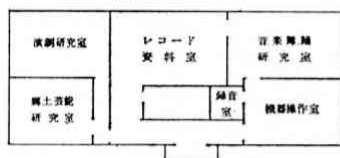


(注)書庫3階
は2階に同じ

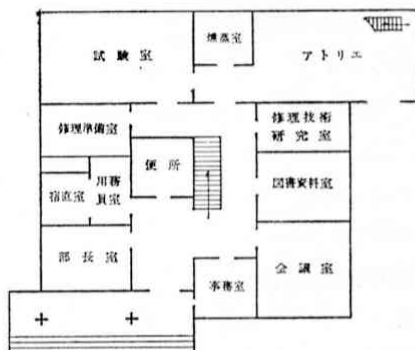
(2階)

II 機構と規模

芸能部庁舎



保存科学部庁舎



(1 階)



(2 階)

注 各庁舎の縮尺不同

機 関 研 究

明治以降日本東洋美術史学の発達に関する研究 (41)	高 田 修	千円 1,050
同 (42)	同	600
歌舞伎の演出・技法の研究 (42)	浦 山 政 雄	3,380

各 個 研 究

大谷探検隊将来品の研究 (41)	上 野 ア キ	130
岡倉天心の伝記資料の調査研究 (41)	関 千 代	120
遺跡の保存処置に関する研究 (41)	岩 崎 友 吉	110
古筆手鑑の研究 (42)	田 村 悦 子	130
西本願寺三十六人集を中心とする平安朝の 絵画的料紙装飾の研究 (42)	江 上 綏	130
鎌倉時代鍔金技法の研究 (42)	立 田 三 朗	130
能の小段構成の研究 (42)	横 道 萬里雄	130
油絵の劣化及び科学的保存法 (42)	見 城 敏 子	100

総 合 研 究

平安時代初期様式の成立過程に関する研究 (41)	高 田 修	1,200
同 (42)	同	1,200
近世初期日本洋風美術の研究 (42)	岡 畏三郎	1,200

Ⅲ 職 員

1 定 員

文部省定員規則（昭和36年6月6日文省令第14号）按すい

国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第22条の2の規定に基づき、文部省定員規則を次のように定める。

文部省定員規則

文部省の各内部部局、各所轄機関（文部省設置法（昭和24年法律第146号）第14条に掲げる国立学校以外の各機関をいう。）及び各附属機関の定員は、次のとおりとする。

外 局

区 分			定 員	備 考
文化財保護委員会	附 属 機 関	東京国立文化財研究所	49 人	

附則 略

昭和41、42年度の職種別予算定員は次のとおりである。

区 分	年 度	41 年 度	42 年 度
一 般 職		49人	49人
行 政 職 (一)		15	15
課 長 補 佐		1	1
課 長 補 佐		1	1
係 長		2	2
専 門 職		2	2
一 般 職 員		9	9
行 政 職 員 (二)		2	2
技能労務職員		2	2
研 究 職		32	32
所 長		1	1
部長等研究員		4	5
室長等研究員		8	7
研 究 員		18	18
研 究 補 助 員		1	1

2 現 職 員

(昭和43年4月1日現在)

(区 分)	(官 名)	(職 名)	(氏 名)	(発 令 年 月 日)
庶 務 課	文 部 技 官	所 長	関 野 克	40. 4. 1
	文 部 事 務 官	課 長	野 島 弥三郎	41. 4. 1
	"	課 長 補 佐	音 川 啓太郎	41. 6. 1
	"	専 門 員	藤 江 金 治	25. 7. 17
庶 務 係	"	係 長	羽 田 吉 一	28. 3. 16
"	"		松 本 多賀子	39. 6. 16
"	"	警 務 員	友 田 薫	41. 2. 1
"	"	用 務 員	高 谷 た ま	39. 4. 1
会 計 係	文 部 事 務 官	係 長	大 釜 一 也	37. 1. 16
"	"		本 村 傳 一	34. 4. 1
"		事 務 員	角 田 友 子	39. 7. 16
美 術 部	文 部 技 官	部 長	高 田 修	27. 12. 1
第 一 研 究 室	"	室 長	川 上 涇	21. 2. 28
"	"		柳 沢 孝	21. 9. 30
"	"		田 村 悦 子	22. 6. 16
"	"		猪 川 和 子	22. 6. 27
"	"		宮 次 男	30. 9. 1
"	"		戸 田 禎 佑	37. 6. 1
"		非常勤研究員	秋 山 光 和	42. 2. 1
第 二 研 究 室	文 部 技 官	室 長	岡 畏三郎	20. 5. 15
"	"		関 千 代	18. 12. 15
"	"		坂 本 満	33. 10. 1
"	"		陰 里 鉄 郎	41. 4. 1
資 料 室	"	室 長	中 川 千 咲	9. 4. 18

III 職 員

(区 分)	(官 名)	(職 名)	(氏 名)	(発 令) (年 月 日)
資 料 室	文 部 技 官		上 野 ア キ	17.11. 3
"	"		田 実 栄 子	23. 3.31
"	"		永 雄 ミ エ	23. 9. 3
"	"		辻 惟 雄	37. 6. 1
"	"		江 上 綏	38. 5. 1
"	"		関 口 正 之	42. 2. 1
"	"	(写 真)	橋 本 弘 次	21. 6.15
"	"	"	市 川 和 正	30. 7. 1
"	"	"	野久保 昌 良	36.10. 1
美 術 部	文 部 技 官	主 任 研 究 官	久 野 健	20. 5.31
"	"	"	中 村 傳三郎	22.10. 1
芸 能 部	文 部 技 官	部 長	浦 山 政 雄	27.10. 1
演 劇 研 究 室	"	室 長 事 務 取 扱	浦 山 政 雄	27.10. 1
"		事 務 員	前 嶋 茂 子	39. 7. 1
"		調 査 研 究 員	宮 本 瑞 夫	41. 5. 1
音 楽 舞 踊 研 究 室	文 部 技 官	室 長	横 道 萬里雄	28. 3.16
"	"		佐 藤 道 子	30. 5.16
"		調 査 研 究 員	山 路 興 造	42. 4. 1
郷 土 芸 能 研 究 室	文 部 技 官	室 長	三 隅 治 雄	27.10. 1
"		調 査 研 究 員	仲 井 幸二郎	41. 5. 1
保 存 科 学 部	文 部 技 官	部 長 事 務 取 扱	関 野 克	27. 4. 1
化 学 研 究 室	"	室 長	岩 崎 友 吉	27.10. 1
"	"		樋 口 清 治	37.11. 1
"	"		門 倉 武 夫	32. 5. 1
物 理 研 究 室	"	室 長	登 石 健 三	27.10. 1
"	"		見 城 敏 子	29. 9. 1
"	"		石 川 陸 郎	32. 4.15
生 物 研 究 室	文 部 技 官	室 長 事 務 取 扱	関 野 克	37.10. 1

(区 分)	(官 名)	(職 名)	(氏 名)	(発 令 年 月 日)
"		調査研究員	江 本 義 数	33. 5. 1
修理技術研究室	文 部 技 官	室 長	立 田 三 朗	37.10. 1
"	"		中 里 寿 克	39. 1. 1
"	"		茂 木 曙	29. 7. 1
保 存 科 学 部	文 部 技 官	主任研究官	江 本 義 理	27. 4. 1

3 旧 職 員 (昭和25年8月～昭和43年3月)

(退職、転任時の官職)	(氏 名)	(在 職 期 間)
美 術 部 長	松 本 栄 一	自 昭 24. 8. 31 至 昭 27.10. 1
美術部第二研究室文部技官	河 北 倫 明	自 昭 18. 1. 15 至 昭 27.10.16
美術部第一研究室技術員	鈴 木 友 也	自 昭 28. 1. 1 至 昭 28. 2. 1
所長事務代理	矢 代 幸 雄	自 昭 27. 4. 1 至 昭 28.11. 1
美術部資料室文部技官	持 丸 一 夫	自 昭 22. 6. 1 至 昭 29. 3.18
庶務室雑仕	吉 野 茂 七	自 昭 21.11.30 至 昭 29.12.31
"	諸 星 ハ ル	自 昭 20. 5.15 至 昭 29.12.31
美術部資料室技術員	山 田 桂 二	自 昭 29. 2. 1 至 昭 30. 2.15
美術部第一研究室文部技官	大 串 純 夫	自 昭 14. 4. 1 至 昭 30. 7.14
芸能部長(併任)	加 藤 成 之	自 昭 27.10. 1 至 昭 32. 6.16
美術部第二研究室技術員	池 田 涼 子	自 昭 22. 6.16 至 昭 33. 6.30
美術部文部技官(併任)	新 規 矩 男	自 昭 22.10.21 至 昭 34. 3.31
美 術 部 長	福 山 敏 男	自 昭 23. 5.11 至 昭 34. 4.16
庶務室庶務係長	加 藤 輝 之	自 昭 27.10. 1 至 昭 34.11.16
美術部資料室文部技官	小 沢 健 志	自 昭 26. 4. 1 至 昭 36. 3.31
庶務課庶務係長	安 岡 潤	自 昭 34.11.16 至 昭 36.10. 1
庶務課文部事務官	長 沢 朝 夫	自 昭 29. 5.16 至 昭 36.11.16
美術部第一研究室長	熊 谷 宣 夫	自 昭 19.10. 1 至 昭 37. 3.31
美 術 部 長	田 沢 坦	自 昭 34. 6. 4 至 昭 37. 4.15

III 職 員

(退職、転任時の官職)	(氏 名)	(在職期間)
芸能部長 (併任)	下 緑 覚 三	自 昭 33. 1. 16 至 # 37. 7. 9
美術部第一研究室長	伊 東 卓 治	自 昭 22. 5. 3 至 # 38. 3. 31
庶務課警務員	鶴 田 豊 次 郎	自 昭 29. 4. 1 至 # 38. 3. 31
保存科学部修理技術研究室長	毛 利 登	自 昭 37. 10. 1 至 # 38. 4. 1
庶務課庶務係長	鬼 山 光 義	自 昭 36. 10. 1 至 # 38. 4. 1
芸能部演劇研究室事務員	玉 木 清 子	自 昭 34. 9. 1 至 # 39. 6. 30
庶務課事務員	長 沢 道 子	自 昭 31. 12. 1 至 # 39. 7. 15
所 長	田 中 一 松	自 昭 27. 10. 1 至 # 40. 3. 31
庶務課長	小 嶋 忠 二	自 昭 26. 5. 1 至 # 40. 3. 31
保存科学部物理研究室研究員 (非常勤)	呉 屋 充 庸	自 昭 29. 4. 1 至 # 40. 3. 31
美術部文部技官 (併任)	米 沢 嘉 圓	自 昭 27. 10. 1 至 # 40. 5. 31
"	吉 川 逸 治	自 昭 22. 10. 1 至 # 40. 5. 31
"	河 北 倫 明	自 昭 28. 4. 1 至 # 40. 5. 31
庶務課作業員	槽 谷 愛 子	自 昭 37. 2. 1 至 # 40. 12. 1
庶務課事務員	中 村 圭 子	自 昭 35. 11. 15 至 # 40. 1. 31
庶務課警務員	鎌 田 幸 四 郎	自 昭 29. 1. 1 至 # 41. 2. 1
美術部第二研究室長	隈 元 謙 次 郎	自 昭 7. 6. 30 至 # 41. 3. 31
芸能部演劇研究室研究員 (非常勤)	戸 部 銀 作	自 昭 27. 10. 1 至 # 41. 3. 31
芸能部郷土芸能研究室研究員 (非常勤)	池 田 弥 三 郎	自 昭 27. 10. 1 至 # 41. 3. 31
芸能部演劇研究室研究員 (非常勤)	石 田 百 合 子	自 昭 40. 4. 1 至 # 41. 3. 31
庶務課課長補佐	守 谷 安 知	自 昭 38. 4. 1 至 # 41. 6. 1
美術部第一研究室長	秋 山 光 和	自 昭 21. 10. 1 至 # 42. 2. 1
庶務課文部事務官	本 間 春 次	自 昭 40. 4. 1 至 # 42. 3. 31
芸能部演劇研究室研究員 (非常勤)	阿 部 順 子	自 昭 41. 4. 1 至 # 41. 5. 31
		自 昭 42. 4. 1 至 # 43. 3. 31

IV 調 査 研 究

I 美 術 部

A 研 究 題 目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を、共は共同研究題目を示す。

高 田 修 (美術部長)

〔I〕 仏教美術史の研究

(1) 両界曼荼羅図の図像学的研究

- a) 高雄曼荼羅の調査研究 (41, 共)
- b) 台密の両界図に関する研究 (41~42)

(2) 密教美術の研究

- a) 東寺講堂の諸尊に関する図像学的研究 (42)
- b) 東寺真言七祖像の調査研究 (42, 共)

〔II〕 インド美術史の研究

(1) 仏像の起源に関する研究 (41~42)

(2) クシャーナ時代美術の研究 (42)

(3) ヒンドゥー教美術の調査研究 (42)

第 一 研 究 室

川 上 涇 (第一研究室長)

〔I〕 中国絵画史の研究

(1) 宋元明清画家伝記資料および作品の調査研究 (共)

IV 調 査 研 究

- (2) 元四大家, とくに呉鎮山水画の研究 (42)
- (3) 中国画論の史的研究

久 野 健 (主任研究官)

〔I〕 日本古代・中世彫刻史の研究

- (1) 飛鳥・白鳳仏の様式的研究
- (2) 弘仁・貞観彫刻の調査研究
- (3) 鎌倉初期彫刻の研究

〔II〕 光学的方法による日本彫刻の調査研究

柳 沢 孝

〔I〕 日本古代・中世絵画史の研究

- (1) 仏教絵画に関する研究
 - a) 神護寺両界曼荼羅の調査と研究 (共)
 - b) 東寺真言七祖像の調査研究 (共)
 - c) 西大寺十二天の調査研究 (共)
 - d) 現存仏画の図像学並びに様式に関する基礎的研究
 - e) 白描図像の調査研究
- (2) 世俗画に関する研究
 - a) 正倉院の絵画遺品の調査研究 (共)
 - b) 扇面法華経の調査研究 (共)
- (3) 敦煌画の研究

田 村 悦 子

〔I〕 日本書道史の研究

- (1) 古筆手鑑を資料とする平安時代書道の研究
 - a) かなの研究——特に歌切について
 - b) 真名の研究
- (2) 絵巻詞書の筆蹟の研究

a) 絵巻詞書断簡の出所判定

b) 絵巻詞書の筆蹟鑑別

〔Ⅱ〕 異体字の歴史的変遷の研究 (42~)

(1) 奈良時代の異体字の調査研究

a) 漢籍写本にみえる異体字

b) 仏典写本にみえる異体字

猪 川 和 子

〔Ⅰ〕 日本彫刻史の研究

(1) 平安時代彫刻の調査研究

(2) 尊像別による彫刻の研究

a) 四天王像について

b) 観音像について

宮 次 男

〔Ⅰ〕 日本古代・中世絵画史の研究

(1) 絵巻物の調査研究

a) 縁起絵・伝記絵の流布に関する研究

b) 南北朝時代絵巻の調査研究

c) 室町時代絵巻の編年の研究

d) 現存遺品の基礎的調査研究

e) 絵巻画中の障屏画の研究

(2) 経典説話画の調査研究

a) 法華経絵の調査研究

b) 往生要集絵の調査研究

c) 目連救母経絵の研究

(3) 中世絵画における宋元画の影響についての研究

戸 田 禎 佑

〔Ⅰ〕 中国絵画史の研究

- (1) 宋元明清画家伝記資料および作品の調査研究（共）
- (2) 宋代文人画の研究
 - a) 金の文献からみた宋代の文人画
 - b) 宋末元初の禅余画家に受け入れられた文人画風
 - c) 董源・巨然の研究
- (3) 元画と室町絵画
 - a) 孫君沢画の研究
 - b) 君台観左右帳記異本の研究

〔Ⅱ〕 日本初期洋風絵画の調査研究（42～，共）

秋 山 光 和（非常勤）

〔Ⅰ〕 日本古代・中世絵画史の研究

- (1) 正倉院収蔵の絵画資料の調査研究（共）
- (2) ポストン美術館所蔵の法華堂根本曼荼羅の調査研究
- (3) 高雄曼荼羅の調査研究（共）
- (4) 東寺真言七祖像の調査研究（共）
- (5) 扇面法華経の調査研究（共）

〔Ⅱ〕 中央アジア・敦煌美術の研究

- (1) 敦煌千仏洞の壁画の編年に関する研究
- (2) ペリオ将来敦煌絵画，特に未紹介遺品に関する研究

第 二 研 究 室

岡 畏三郎（第二研究室長）

〔Ⅰ〕 日本近代絵画史の研究

- (1) 明治以降における主要作家の作品・伝記等に関する基礎的資料の調査研究
 - a) 横山松三郎，山下りん他
- (2) 明治・大正期における新絵画運動について

a) 草土社, 日本美術院他

〔Ⅱ〕 日本初期洋風絵画の調査研究 (42~, 共)

中 村 伝三郎 (主任研究官)

〔Ⅰ〕 近代日本彫塑史の研究

(1) 大正・昭和前期における彫塑界の概況

a) 国画会旧彫塑部の調査研究 (41)

b) 構造社の調査研究 (42~)

(2) 明治・大正・昭和前期における主要彫塑家の伝記資料および作品の調査研究

——特に竹内久一 (41~), 高村光雲 (42), 長沼守敬 (42), 陽成二 (42~) ——

〔Ⅱ〕 近代日本美術における国際的相互影響の調査研究 (42~, 共)

(1) 現代美術における国際的相互影響の状況

〔Ⅲ〕 現代日本彫刻界の動向についての調査研究

(1) 彫刻諸展覧会, 建築と彫刻, 野外彫刻, 立体・環境造形等

関 千 代

〔Ⅰ〕 日本近代絵画の研究

(1) 明治以前洋風画の研究 (42~, 共)

(2) 明治大正絵画の調査研究

a) 日本画に於ける洋画の影響

b) 日本画団体に関する調査研究——国画創作協会ほか——

c) 画家・美術関係者の調査研究——黒田清輝・土田麦僊ほか——

〔Ⅱ〕 現代日本美術の調査研究——現代日本画の動向についての調査研究——

坂 本 満

〔Ⅰ〕 16・17世紀における日本洋風美術の研究 (42~, 共)

〔Ⅱ〕 19・20世紀における東西美術交流の研究

〔Ⅲ〕 西洋近世版画史研究

陰 里 鉄 郎

〔Ⅰ〕 日本近代絵画史の研究

(1) 幕末明治初期洋画の研究

a) チャールス・ワーグマンとその周辺について

b) 洋画塾についての調査研究

(2) 大正期洋画の調査研究

a) 万鉄五郎についての調査研究

b) 藤田嗣治についての調査研究

c) 同時代ヨーロッパ美術との比較的調査研究

〔Ⅱ〕 日本初期洋風絵画の調査研究 (42～, 共)

(1) 近世初期洋風美術の実証的研究

(2) 近世後期洋風美術の調査研究

〔Ⅲ〕 現代美術の調査研究

資 料 室

中 川 千 咲 (資料室長)

〔Ⅰ〕 近世工芸意匠の調査研究——初期色絵陶磁を中心として——

〔Ⅱ〕 近代陶芸の調査研究

〔Ⅲ〕 近世初期日本洋風美術の研究 (42～, 共)

上 野 ア キ

〔Ⅰ〕 中央アジア美術研究

(1) 大谷探検隊将来美術品の調査研究

(2) ヨーロッパ各国探検隊将来美術品の調査研究

田 実 栄 子

〔Ⅰ〕 染織工芸史の研究

(1) 近世初期染織品の研究

- a) 上杉神社蔵、伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類の調査研究
- b) 上杉神社所蔵以外近世初期服飾類の調査研究
- c) 所謂名物裂等を中心とした第二次外来染織品についての調査研究
- (2) 小袖の研究
 - a) 小袖における形態変遷の調査研究
 - b) 小袖における模様の様式並びに技法の技術の変遷進展に関する調査研究
 - c) 小袖における地質の調査研究
- (3) 現代における伝統的染織工芸品並びに伝統的染織技法・技術の調査研究
- (4) 上代裂の調査研究
 - a) 主として東京国立博物館保管の正倉院裂を研究対象に第一次外来染織品の調査研究

〔Ⅱ〕 近世初期日本洋風美術の研究 (42～, 共)

永 雄 ミ エ

〔Ⅰ〕 日本・東洋美術史の文献学的研究

辻 惟 雄

〔Ⅰ〕 日本中世・近世絵画史の研究

- (1) 初期狩野派の研究
- (2) 近世障壁画の研究
- (3) 近世初期洋風画の研究 (42～, 共)
- (4) 江戸時代画家の研究

江 上 綏

〔Ⅰ〕 料紙装飾を中心とする日本古代絵画の研究

- (1) 西本願寺三十六人集の絵画を中心とする遺品の研究
- (2) 平安時代紙絵の文献的研究

〔Ⅱ〕 日本古代中世庭園史の文献的研究

- (1) 「童子口伝書つき山水并野形図」の研究

IV 調査研究

関口正之(昭和42年2月1日就職)

〔I〕 日本仏教絵画史研究

(1) 十二天画像の図像学的研究

〔II〕 南詔国・大理国に於ける仏教美術研究

B 調査研究活動

年・月、場所、内容の順序に記し、末尾に共同調査者等を付載。括弧内の氏名は所外者。場所の記入のないのは研究所内で行われたもの。

高田 修(美術部長)

- | | | | |
|------------|----------|--------------------------|-------------------|
| 41・7
~8 | 京都国立博物館 | 神護寺蔵両界曼荼羅の調査・撮影 | 秋山, 柳沢,
関口 |
| 41・9 | インド | インド各地所在の博物館蔵品並びに遺跡の調査・撮影 | |
| 42・12 | 京都 教王護国寺 | 真言七祖像の調査・撮影 | 秋山, 柳沢,
江上, 関口 |
| 42・12 | 京都 西本願寺 | 三十六人集の調査・撮影 | 秋山, 柳沢,
江上, 関口 |
| 43・3 | 京都 教王護国寺 | 真言七祖像の調査・撮影 | 秋山, 柳沢,
関口 |

第一研究室

川上 涇(第一研究室長)

- | | | | |
|--------------|----------|-----------------|----------------------------|
| 41・9 | 黒川古文化研究所 | 寒林重汀図調査 | 戸田 |
| 42・5 | 京都 相国寺 | 同寺所蔵絵画の調査・撮影 | 宮, 辻, 戸田
(田中一松,
鈴木敬) |
| 42・10
~11 | 台湾 台北 | 国立故宫博物院所蔵中国画の調査 | 戸田, (島田修
二郎) |
| 42・10 | 神戸 住友クラブ | 住友氏所蔵明清画調査 | |
| 42・12 | 京都 守屋正氏 | 同氏所蔵清朝画調査 | |

久野 健(主任研究官)

- | | | | |
|-------|--------|----------------------------|------------|
| 41・4 | 大阪, 京都 | 藤木正一, 竹腰健造他数氏の押出仏の調査 | |
| 41・7 | 新潟 | 新井市付近の仏像彫刻調査 | |
| 41・9 | 京都 | 神護寺本尊薬師如来像, 五大虚空蔵菩薩像等の調査 | 猪川 |
| 41・11 | 京都 | 天田郡夜久野町宮垣部落所有の天仁二年銘薬師像等の調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |

41・12	埼玉	小淵観音堂本尊等の調査	
41・12	愛知	七つ寺の諸尊像の調査	
42・3	滋賀, 京都	鷄足寺薬師如来, 東寺講堂の諸尊像等の調査	猪川
42・4	東京	日野市付近の仏像彫刻調査	
42・7	奈良	中宮寺半跏思惟像の調査	
42・8	京都	峯定寺二王像(長寛元年銘)等の調査	
43・11	大阪	観心寺霊宝館の諸尊像の調査	猪川
43・3	静岡	静岡市付近の県指定彫刻の調査	

柳 沢 孝

41・5	京都 松尾寺	終南山曼荼羅の調査	
41・7 ~ 8	京都国立博物館	神護寺蔵両界曼荼羅の調査・撮影	高田, 秋山
41・9	千葉, 東京	小倉氏及び根津美術館所蔵の朝鮮仏画の調査	(熊谷宜夫)
41・10 11	正倉院	絵画関係の調査	秋山, (山崎一雄)
41・11	京都 松尾寺	終南山曼荼羅の調査・撮影	
42・5	京都国立博物館	神護寺蔵両界曼荼羅の調査	秋山, 田実
42・7	奈良国立博物館	長谷寺蔵高雄曼荼羅白描本の調査	秋山
42・8	京都 醍醐寺	高雄曼荼羅白描本残欠(金剛界成身会並に微細会)の調査・撮影	
42・9	大阪 四天王寺	扇面法華経の調査	秋山, (鈴木敬三)
42・9	奈良 法隆寺	扇面法華経の調査・撮影	秋山
42・10	尾道市	浄土寺・西国寺等の諸寺及び個人蔵仏画調査	
42・12	京都 教王護国寺	真言七祖像の調査・撮影	高田, 秋山, 江上, 関口
42・12	京都 西本願寺	三十六人集の調査・撮影	秋山, 田村, 江上, 関口
43・3	京都 藤岡氏	持光寺蔵普賢延命像の調査・撮影	
43・3	京都 教王護国寺	真言七祖像の調査・撮影	高田, 秋山, 関口
43・3	奈良 西大寺	十二天像の調査・撮影	関口

田 村 悦 子

41・4	田中親美氏	王勃集断簡調査	
------	-------	---------	--

- 41・5 酒井宇吉氏 王勃集断簡調査
- 41・7 五日市 大悲願寺 木活字調査
- 41・8 東村山 得蔵寺 板碑(元弘三年)調査
- 41・9 愛知 岩屋寺 宋版大蔵經調査
- 41・9 名古屋 七ツ寺 辛櫃入一切經調査
- 41・12 梅沢彦太郎氏 「古筆手鑑」2帖調査
- 42・3 田中親美氏 寂然和歌卷調査
- 42・10 京都 御所 御物「古筆手鑑」「古文書手鑑」調査・撮影
- 42・12 京都 西本願寺 三十六人集調査
- 42・12 静岡 平田寺 平田寺文書調査
- 43・3 徳川美術館 岡谷コレクション「藥叢手鑑」「鳳凰台手鑑」の調査
- 42・4
~43・
3 奈良時代異体字の調査研究(真福寺藏瑞玉集卷十二・十四, 石山寺藏漢書高帝紀・韓彭英盧異伝, 石山寺藏史記列伝三十六・三十七, 小川氏藏金剛場陀羅尼經, 守屋本千手千眼陀羅尼)

猪 川 和 子

- 41・4 京都 西明寺, 常楽院 清涼寺式釈迦及び十大弟子像調査・撮影
- 41・8 三重 四天王寺他 薬師坐像, 正法庵十一面観音像, 西音寺薬師像 (佐藤昭夫, 水野敬三郎)
- 41・9 京都 神護寺 本尊薬師立像, 五大虚空蔵菩薩その他調査・撮影 久野
- 41・11 京都 威徳寺他 藤原時代彫刻百数十軀調査・撮影 久野, (佐藤昭夫)
- 42・3 滋賀 鷄足寺 薬師及び神将像調査・撮影 久野
- 42・3 京都 教王護国寺 講堂, 宝物館諸像調査・撮影 久野
- 42・6 滋賀 善水寺他 四天王像調査・撮影
- 42・8 鳥取 三仏寺 蔵王権現像, 胎内文書調査・撮影
- 42・10 京都 広隆寺 四天王, 蔵王権現像調査・撮影
- 42・11 長野 牛伏寺 蔵王権現像調査・撮影
- 42・11 静岡 佐野美術館 蔵王権現像調査・撮影
- 42・11 大阪 観心寺 霊宝館安置諸像調査・撮影 久野
- 43・1 東京国立博物館 三仏寺蔵王権現像調査・撮影

宮 次 男

- 41・6 姫路 英賀神社 北野天神縁起の調査 (吉田友之)
- 41・6 尾道 常 称 寺 一遍上人絵詞伝の調査
- 41・6 徳 川 美 術 館 源平合戦絵の調査
- 41・7 京都国立博物館 真光寺本・金蓮寺本一遍上人絵詞伝の調査
- 41・9 奈良国立博物館, 徳川美術館 長谷寺縁起絵巻の調査
- 41・9 京都 金 光 寺 日蓮救母経の調査
- 41・9 大阪 幸節静彦氏 同氏所蔵絵巻類の調査
- 42・11 山形 光 明 寺 一遍上人絵詞伝の調査
- 42・5 京都 相 国 寺 同寺所蔵絵画の調査・撮影 川上, 辻, 戸田, (田中一松, 鈴木敬)
- 42・5 芦屋 山 田 氏 同氏所蔵屏風類の調査・撮影 辻, 戸田, (田中一松, 山根有三)
- 42・6 サントリー美術館 戦国武人画家作品の調査・撮影 辻
- 42・6 田 中 親 美 氏 年中行事絵巻の調査
- 42・7 東京国立博物館 後三年合戦絵巻の調査
- 42・10 大阪朝日新聞社 上野氏蔵法華経絵巻の調査・撮影
- 43・2 藤沢 清 浄 光 寺 一遍上人絵詞伝の調査
- 42・2 京都国立博物館 金蓮寺蔵浄阿上人絵伝の調査
- 43・2 米原 蓮 華 寺 一向上人絵伝の調査

戸 田 禎 佑

- 41・9 黒川古文化研究所 寒林重汀図調査 川上
- 42・5 京都 相 国 寺 同寺所蔵絵画の調査・撮影 川上, 辻, 宮 (田中一松, 鈴木敬)
- 42・7 江田氏蔵中国画の調査・撮影
- 42・10 台湾 台 北 国立故宫博物院所蔵中国画の調査 川上, (島田修二郎)

秋 山 光 和 (非常勤)

- 41・7 京都国立博物館 神護寺蔵両界曼荼羅の調査・撮影 高田, 柳沢
- 41・9 ア メ リ カ アメリカ所在の東洋美術, 特に日本の絵巻物, 仏画に関する調査
- 41・10 正 倉 院 絵画関係の調査 柳沢, (山崎一雄)

IV 調 査 研 究

- | | | | |
|-------|----------|-----------------|----------------|
| 42・5 | 京都国立博物館 | 神護寺蔵阿界曼荼羅の調査 | 柳沢, 田実 |
| 42・7 | 奈良国立博物館 | 長谷寺蔵高雄曼荼羅白描本の調査 | 柳沢 |
| 42・9 | 大阪 四天王寺 | 扇面法華経の調査 | 柳沢, (鈴木敬三) |
| 42・9 | 奈良 法隆寺 | 扇面法華経の調査・撮影 | 柳沢 |
| 42・12 | 京都 教王護国寺 | 真言七祖像の調査・撮影 | 高田, 柳沢, 江上, 関口 |
| 42・12 | 京都 西本願寺 | 三十六人集の調査・撮影 | 柳沢, 田村, 江上, 関口 |
| 42・12 | 兵庫 武藤氏 | 扇面法華経の調査・撮影 | |

第 二 研 究 室

岡 畏三郎 (第二研究室長)

- | | | | |
|---------------|------------|----------------------------|---------------|
| 41・4 | 大阪市 | 「明治から現代」版画100年展企画・調査・解説等 | |
| 41・4 | 鎌倉市 | 明治期石版画の調査 | |
| 41・5 | 国立近代美術館 | 岸田劉生展の企画・作品調査 | |
| 41・7 | 東京 | 宮内庁蔵杉戸絵の調査・撮影 | 関, 陰里, 坂本 |
| 41・9 | 鎌倉市 | 万鉄五郎の作品調査・撮影 | |
| 42・5 | 国立近代美術館 | 近代日本の版画展の企画・作品調査・撮影 | |
| 42・9 | 名古屋市 | 中日新聞社主催近代洋画名品展の企画・作品調査・解説等 | 陰里 |
| 42・10 | 神奈川県立博物館 | 近世洋風美術展の作品調査 | |
| 42・11 | 神奈川県立近代美術館 | 関根正二・靈光展の作品調査・撮影 | 陰里 |
| 42・11 | 函館市 | 横山松三郎, 山下りん他作品調査 | |
| 43・3 | 大阪市, 神戸市 | 大阪, 神戸における美術館の初期洋風美術調査・撮影 | 関, 辻, 陰里 |
| 41・4
~43・3 | 東京 | 黄土社関係資料蒐集・調査 | |
| 41・4
~43・3 | 東京 | 現代美術の動向調査 | 中村, 関, 陰里, 坂本 |

中 村 伝三郎 (主任研究官)

- | | | | |
|------|----------|--------------------------|--------|
| 42・3 | 大阪 | 関西美術界の動静と視察施設の調査 | |
| 42・3 | 長野 緑山美術館 | 荻原守衛の作品調査 | (田中義恭) |
| 42・8 | 宇都市 | 第2回現代日本彫刻展審査委員会ならびに開会式出席 | |

- 43・2 大阪, 京都 関西美術界の調査, 京都市美術館明治美術展なら
びに万国博展示予定作品の調査
- 43・3 長岡市 長岡現代美術館の調査
- 41・4
~43・東京, 近県 現代美術関係諸展の調査ならびに資料蒐集
3

関 千 代

- 41・7 東京 宮内庁蔵杉戸絵の調査・撮影 岡, 陰里, 坂本
- 42・3 北茨城市 五浦研究所蔵日本美術院関係資料の調査 (隈元謙次郎)
- 42・3 ヨーロッパ ヨーロッパ各地美術館蔵日本近代絵画との関連
~4 作品についての調査
- 42・4 東京 ブリヂストン美術館生誕百年記念藤島武二展の
調査 (隈元謙次郎)
- 42・10 神奈川県立博物館 近世洋風美術展の調査・撮影 坂本, 陰里,
辻
- 42・12 東京 小田急百貨店近代日本の夜明け展の調査・撮影 陰里, 辻
- 43・2 京都市美術館 明治美術展の調査
- 43・3 神戸市, 大阪市 南蛮美術館, 南蛮文化館の調査・撮影 岡, 辻, 陰里
- 41~42 黒田清輝書簡ならびに日記の調査・整理 (隈元謙次郎)
- 41・4
~43・東京, 近県 現代美術関係諸展観の調査
3

坂 本 満

- 41・7 東京 宮内庁所蔵杉戸絵の調査・撮影 岡, 関, 陰里
- 41・7 長崎 隠れキリシタン遺品の調査
- 41・8 横浜市 丹波コレクション銅版画の調査
- 42・2 倉敷市, 大阪市 フォーヴィスム作品の調査 陰里
- 42・5 大阪市 北村芳郎氏所蔵初期洋風美術作品の調査 陰里
- 42・5 高岡市美術館 南蛮美術展の調査
- 42・7 東京国立博物館 同館所蔵初期洋風美術作品の調査 関, 陰里
- 42・10 神奈川県立博物館 近世洋風美術展の作品調査・撮影 関, 辻, 陰里
- 42・10 水戸市 水戸徳川氏所蔵初期銅版画の調査・撮影
- 42・11 パリ 国立図書館 西洋美術史, 西洋版画史, 美術品の科学的調査
~ 法, 資料整理法等の研究

陰 里 鉄 郎

- 41・4 東京国立博物館 宮内庁所蔵明治期絵画の調査
- 41・7 東京 宮内庁所蔵杉戸絵の調査・撮影 岡, 関, 坂本
- 41・11 神奈川県立近代美術館 長崎派美術展の作品調査
- 41・11 神奈川県立近代美術館 佐伯祐三展の作品調査
- 42・2 倉敷市, 大阪市 フォーヴィスム作品の調査 坂本
- 42・5 大阪市 北村芳郎氏所蔵初期洋風美術作品の調査 坂本
- 42・9 名古屋市中日新聞社主催近代洋画名作展の企画・出陳作品の調査 岡
- 42・10 神奈川県立博物館 近世洋風美術展の作品調査・撮影 岡, 辻, 坂本
- 42・10 盛岡市, 花巻市 土沢町万清氏宅にて万鉄五郎の調査・盛岡市所在万鉄五郎作品の調査
- 42・11 大和文華館所蔵婦女彈琴図の調査・撮影
- 42・11 群馬県満福寺所蔵西洋武人図の調査・撮影
- 42・11 神奈川県立近代美術館 関根正二・霽光展調査・撮影 岡
- 42・12 東京 小田急百貨店近代日本の夜明け展調査・撮影 岡, 辻
- 43・2 東京 藤田嗣治に関する調査。川島理一郎, 長谷川昇, 宮本三郎など諸氏を訪問
- 43・3 神戸市, 大阪市 南蛮美術館, 南蛮文化館の初期洋風美術作品の調査・撮影 岡, 関, 辻
- 43・3 長崎市 同市所在の洋風美術作品の調査
- 41・4
~43・3 東京, 近県 現代美術の動向調査

資 料 室

中 川 千 咲 (資料室長)

- 42・2 香川 高松地方における古陶磁の調査
- 43・3 鳥取, 島根, 山口 山陰古窯とその伝統に関する調査
- 41・4
~43・3 重要文化財指定に関する陶磁, 無形文化財に関する陶磁の伝統的技術についての調査

上 野 ア キ

- 41 国内所在大谷コレクション調査研究

- 41・7 ヨーロッパ、インド 英国博物館スタイン将来、ギメ東洋美術館ペリオ将来、ベルリン国立博物館ルコック将来、ニーデリー国立博物館スタイン将来中央アジア美術品の調査研究
- 42・3 東京、京都 国会図書館、東大・国学院大・東京女子大・東京芸大図書館、東京国立博物館、考古学協会、京都市史料館、京大工学部・人文科学研究所、淡交社等における東洋古美術研究文献の調査

田 実 栄 子

- 41・7 京都国立博物館 高雄曼荼羅の綾裂を中心とする調査研究
- 41・11 米沢市 上杉神社蔵伝上杉謙信、上杉景勝所用服飾類(主として胴服、陣羽織)の調査研究
- 42・9 京都市 西陣織物関係の調査
- 42・10 京都市 南蛮渡来染織品等実物遺品資料の調査
- 42・12 京都 教王護国寺 同寺所蔵工芸品の調査
- 43・3 京都市、大阪市、神戸市 初期洋風美術の南蛮風俗関係の調査研究

辻 惟 雄

- 42・5 京都 相国寺 同寺所蔵絵画の調査・撮影
- 42・5 芦屋 山田氏 同氏所蔵屏風類の調査・撮影
- 42・9 京都市 曾我蕭白墓の調査
- 42・10 神奈川県立博物館 近世洋風美術展の調査・撮影
- 43・3 京都市 狩野元信関係作品の調査
- 43・3 京都、滋賀 近世初期障壁画の調査・撮影
- 43・3 神戸市、大阪市 初期洋風美術調査・撮影

川上、宮、戸田、(田中一松 鈴木敬)
宮、戸田、(田中一松、山根有三)

関、坂本、陰里

(山根有三)

岡、関、陰里

江 上 綏

- 41・6 欧米、アジア 在外日本及び東洋美術の調査・資料蒐集
- 42・1 東京 日本大学蔵「童子口伝書つき山水并野形図」調査
- 42・12 京都 西本願寺 三十六人集の調査・撮影
- 42・12 京都 教王護国寺 真言七祖像の調査・撮影
- 41~42 平安時代紙絵資料文献の調査

高田、秋山、柳沢、田村、関口
高田、秋山、柳沢、関口

IV 調 査 研 究

- 41~42 東京, 京都, 大阪, 奈良, 天理等 東洋古美術文獻目録作成にともなう調査 上野, 永雄, 辻, 関口

関 口 正 之 (昭和42年2月1日就職)

- | | | | | |
|-------|----|-------|-------------|--------------------|
| 42・12 | 京都 | 西本願寺 | 三十六人集の調査・撮影 | 高田, 秋山, 柳沢, 田村, 江上 |
| 42・12 | 京都 | 教王護国寺 | 真言七祖像の調査・撮影 | 高田, 秋山, 柳沢, 江上 |
| 42・3 | 京都 | 教王護国寺 | 真言七祖像の調査・撮影 | 高田, 秋山, 柳沢 |
| 43・3 | 奈良 | 西大寺 | 十二天画像の調査・撮影 | 柳沢 |

C 主要研究業績

①は著書, ②は論文, ③は解説, ④は研究発表, ⑤は講演・放送, ⑥はその他等の種別を示し, 題名, 発表場所 (発行所, 掲載誌, 講演場所, 放送局等), 発行年・月の順序に記す。

高 田 修 (美術部長)

- | | | |
|----------------------|------------|----------|
| ①高雄曼荼羅 (美術研究所報告, 共著) | 東京国立文化財研究所 | 42・3 |
| 仏像の起源 | 岩波書店 | 42・9 |
| ②インドにおける文化財保護 | 月刊文化財 | 32 41・5 |
| ガンダーラ美術の仏教的背景 | 美術研究 | 243 41・9 |
| 東寺講堂の諸尊とその密教的意義 | 美術研究 | 253 43・3 |
| ④東寺講堂諸尊の密教的意義 | 美術研部研究会 | 42・4 |
| 東寺講堂五菩薩をめぐる問題 | 美術部研究会 | 43・3 |
| ⑤仏像の起源 | 美術部公開学術講座 | 41・11 |

第 一 研 究 室

川 上 涇 (第一研究室長)

- | | | |
|---------------|------------------------|----------|
| ②邵宝題扁舟帰閩図私考 | 美術研究 | 248 42・3 |
| 中国の絵画上 | 朝日新聞社, 東洋美術 I | 42・4 |
| ③邵宝題扁舟帰閩図 他2点 | 京都国立博物館, 上野有竹斎蒐集中国書画図録 | 41・3 |
| 東洋の美術教育思想 | 全国教育図書, 学校教育全書12 | 42・4 |

久野 健 (主任研究官)

- ①法隆寺 (鈴木嘉吉と共著) 小学館 41・12
- ②埴仏について 国華 896 41・11
- 神像濫觴考 吉川弘文館, 日本歴史考古学論叢 41・11
- 押出仏について 古美術15 41・11
- 康平七年銘不動明王像 美術研究 245 42・2
- 東寺草創期の彫像 美術研究 253 43・3
- ④埴仏について 美術部研究会 41・12
- 東寺の彫刻 美術部研究会 42・4
- 中宮寺本尊の造像法について 美術部研究会 42・10
- 比叡山根本中堂の仏像 総合研究研究会 42・11
- ⑤鎌倉文化 NHKテレビ 41・7
- 仏像の見かた 青山学院大学 41・10
- 飛鳥時代と飛鳥文化 NHKテレビ 42・5
- 天平文化 NHKテレビ 42・6
- 日本の仏像 金沢社会教育センター 42・6
- 日本の彫刻 日経ホール 42・8
- 平安初期の彫刻について 美術部公開学術講座 42・12

柳 沢 孝

- ①高雄曼荼羅 (美術研究所報告, 共著) 東京国立文化財研究所 42・3
- ②唐本北斗曼荼羅の二遺例 —— いわゆる終南山曼荼羅について —— 道教研究II 42・3
- 松尾寺所蔵の終南山曼荼羅について —— 唐本北斗曼荼羅の異図 —— 美術研究 248 42・3
- ③ギメ美術館蔵敦煌仏画図版解説 講談社, ギメ東洋美術館 43・3
- ④終南山曼荼羅について 美術部研究会 42・4

IV 調 査 研 究

田 村 悦 子

- ②古筆栗田切について——法然寺本地蔵縁起絵巻第一話の考察—— 美術研究 247 42・3
- ②平治絵巻六波羅合戦巻詞書の断簡について——併せて現存三巻の書蹟に及ぶ——
美術研究 253 43・3

猪 川 和 子

- ②長谷の大仏と観音——鎌倉地方彫刻の開花——
解釈と鑑賞 4 月増大号「鎌倉・歴史と美術」 41・4
- 京都常楽院の十大弟子像と鎌倉地方の十大弟子像 金沢文庫研究 131 42・1
- 京都常楽院の十大弟子像 美術研究 250 42・12
- 三仏寺蔵王権現像と胎内納入文書 美術研究 251 43・2
- 蔵王権現像と金剛童子像 美術研究 252 43・3
- ③法隆寺彫刻解説 小学館, 原色日本の美術 2 41・12
- ④二天彫像について 美術史学会総会 41・5
- 常楽院の十大弟子像について 美術部研究会 42・1
- 秘蔵されていた三仏寺本尊胎内納入文書 美術部研究会 42・10

宮 次 男

- ②奥州十二年合戦絵巻 日本美術工芸 333 41・6
- 日本の地獄絵 日本美術工芸 335 41・8
- 源平合戦絵 日本美術工芸 337 41・10
- 後三年合戦絵巻 日本美術工芸 348 42・9
- 後三年合戦絵巻をめぐる二、三の問題上 美術研究 251 43・2
- ③長谷寺縁起絵巻 古美術15 41・11
- 伊保庄本北野天神縁起 古美術18 42・7
- 弥勒来迎図 美術研究 250 42・12
- 調馬図巻 古美術20 42・12
- 一遍上人絵詞伝残欠 古美術21 43・3
- 聖徳太子絵伝 古美術21 43・3

④メトロポリタン本北野天神縁起絵巻日藏巡歴段の錯簡と復原試論

美術部研究会 42・7

⑤平安時代の美術

NHK教育テレビ 41・6

絵巻物にみる名所

サントリー美術館 42・2

戸田 慎 佑

②来日した清人画家

平凡社、日本の美術22 41・4

張莘と張昆——来舶清人画家に関する一考察——

国華 891 41・6

日本史・美術史

東大出版会、日本における歴史学の発達と現状Ⅱ 41・6

③軍向筆山水図 他3点

京都国立博物館、上野有竹斎蒐集中国書画図録 41・3

④張秋谷と張秋穀——来舶清人画家に関する一考察——

美術部研究会 41・7

金代絵画に関する二三の問題

東大東洋文化研究所研究会 42・6

金代絵画に関する二三の問題

美術部研究会 42・6

⑥バジル・グレイ、伝顧愷之筆女史箴図巻解説（鈴木敬と共訳）

朝日新聞社 41・11

秋 山 光 和（非常勤）

①高雄曼荼羅（美術研究所報告、共著）

東京国立文化財研究所 42・3

ギメ東洋美術館（編）

講談社 43・3

③敦煌画阿弥陀浄土図

美術研究 252 43・3

④敦煌における変文と絵解

三康文化研究所 41・4

敦煌壁画における説話表現の展開

東洋文庫東洋学講座 41・5

The Identification and Reconstruction of the Illustrated Scroll known as

Kōnin Shōnin E-den

サンフランシスコ、東洋美術国際シンポジウム 41・9

アメリカ美術館の絵巻物（一）

美術部研究会 42・1

アメリカ所在の日本絵画

美術部研究会 42・3

フリーア美術館の日本絵画

美術部研究会 42・4

⑤ 源氏絵の系譜

美術部公開学術講座 41・11

第 二 研 究 室

岡 畏三郎 (第二研究室長)

- ① 広重 (Ⅱ) 山田書院 42・7
- 北斎 (Ⅱ) 山田書院 42・10
- ③ 人名辞典, 事項解説 朝日新聞社, 明治百年美術館 42・4
- 明治・大正・昭和の版画 現代の眼 151 42・6
- 岸田劉生と小出楢重 中日新聞社, 近代洋画名作展目録 42・10
- ⑥ 近代美術年譜 三彩社, 現代の日本画Ⅰ, Ⅱ 42・11
43・1

中 村 伝三郎 (主任研究官)

- ② 近代日本彫刻史のなかのロダン みづゑ 739 41・9
- 明治彫塑と長沼守敬 学士会月報 697 42・10
- ③ 新しい野外彫刻への道 美術手帖 267 41・5
- 北村西望の人と作品 ジャパン・アート・サービス・カンパニー, 北村西望作品集 41・5
- ロダンと日本文化 読売新聞 (夕刊) 41・5
- 高村光雲年譜 中央公論美術出版, 高村光雲 42・4
- 人名辞典 朝日新聞社, 明治百年美術館 42・4
- ⑥ ロダンを語る (座談会, 司会・企画) 三彩 207 41・10
- 日展の彫塑 三彩 209 41・12
- 現代彫刻展月評 (現代日本彫刻界の動向と展評) 三彩 195~211 41・1
~42・2
- 第2回現代日本彫刻展 三彩 221 42・11
- 日展第三科 (彫塑) 三彩 223 42・12
- 二つのオブジェ彫刻展 (木村直道・伊木淳) 三彩 223 42・12
- 翁観二彫刻展の意味 (現代日本彫刻の一動向とプライマリーストラクチャー)
商店建築 142 43・3

関 千 代

- ③人名辞典 朝日新聞社, 明治百年美術館 42・4
 ⑥五浦より久の浜まで 秀作美術24 42・2
 黒田清輝日記2, 3 (共編) 中央公論美術出版 42・2, 3

坂 本 満

- ①バロック・ロココ (世界美術12) 講談社 41・10
 コロー, ミレー, クールベ (世界美術全集9) 河出書房 42・4
 ②日本史・美術史 東大出版会, 日本における歴史学の発達と現状II 41・6
 レアリスムと照明法——カラヴァッジオをめぐる ミュージアム 183 41・10
 レバント戦闘図屏風について (上) 美術研究 246 42・3
 ③ゴヤ作品解説 講談社, ルーヴルの名宝6 41・10
 ④レバント戦闘図屏風 美術史学会總會 41・5
 ⑤コルト プリヂストン美術館 41・9
 ⑥ヴェントゥリー, 近代絵画論 (共訳) 角川書店 42・5

陰 里 鉄 郎

- ②長崎絵と横浜絵 世界文化社, 日本歴史・開国と攘夷 41・10
 洋風画の展開 ミュージアム 187 41・10
 チャールス・ワーグマンとその周辺 本の手帖7-1 42・1
 ③人名辞典, 事項解説 朝日新聞社, 明治百年美術館 42・4
 19世紀の美術 学習研究社, 世界的美術II・西洋 42・7
 ⑥日本洋画の150年表 みづゑ別冊46 41・7
 作品解説, 年表, 系譜図 中日新聞社, 近代洋画名品展目録 42・9
 第10回日展日本画評 (座談会) 萌春161, 162 42・11
 明治美術評 共同通信社 43・1
 万鉄五郎年譜 中央公論美術出版, 鉄人画論 43・3

IV 調 査 研 究

資 料 室

中 川 千 咲 (資料室長)

- ①板谷波山伝 (共著) 茨城県 42・4
- ②古伊万里色絵婦女図壺の一作品 美術研究 246 42・3
- ③明治期の陶芸 ミュージアム 203 43・2
- ④現代の陶芸 ブリヂストン美術館 42・10
- ⑤桃山江戸期の工芸意匠 美術部公開学術講座 42・11

上 野 ア キ

- ③トコク出土絹絵断片婦人像 美術研究 249 42・11
- ⑥西域の将来品を訪ねて 東方学会報11 42・1

田 実 栄 子

- ①高雄曼荼羅 (美術研究所報告, 共著) 東京国立文化財研究所 42・3
- 増上寺徳川將軍墓と遺品・遺体 (共著) 東大共版会 42・10

辻 惟 雄

- ①妙心寺天球院 (障壁画全集) 美術出版社 42・1
- ②日本史・美術史 東大出版会, 日本における歴史学の発達と現状II 41・6
- 狩野元信(一) 美術研究246, 249 42・3
42・10
- ③狩野松栄筆廿四孝図屏風 美術研究 243 41・9
- 海北友松筆禅宗祖師図 国華 894 41・9
- 海北友松筆飲中八仙図 国華 894 41・9
- 伊藤若冲筆雪蘆鴛鴦図 国華 898 42・1
- 長谷川等伯筆松林図屏風 国華 900 42・3
- 長谷川等伯筆老松・猿猴捉月図襖 国華 900 42・3
- 狩野永徳筆四季山水図屏風 美術研究 249 42・10

- ④狩野元信の伝記史料の二、三に関する考察 美術部研究会 41・5
 狩野元信の伝記史料に関する二、三の考察 美術史学会総会 41・5
 ⑤智積院障壁画と長谷川等伯 ブリヂストン美術館 42・3

江 上 綏

- ②日本史・美術史 東大出版会、日本における歴史学の発達と現状Ⅱ 41・6
 「童子口伝書つき山水并野形図」校刊上、下 美術研究247, 250 42・3
 「童子口伝書つき山水并野形図」考補遺 美術研究 251 42・12
 ⑤Japanese Aesthetic Concepts ブリテイッシュ・コロンビア大学 41・3
 ~4

関 口 正 之 (昭和42年2月1日就職)

- ②大理国張勝温画梵像に就いて 上、下 国華895, 898 41・10
 42・1

2 芸 能 部

A 研 究 題 目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を、共は共同研究を示す。

浦 山 政 雄 (芸能部長)

〔Ⅰ〕近世演劇の研究

- (1) 歌舞伎脚本・作者の研究
 - a) 未翻刻歌舞伎脚本の研究 (41・42)
 - b) 四世鶴屋南北作者年表の研究 (41・42)
- (2) 歌舞伎舞踊の研究
 - a) 日本舞踊譜の研究 (41, 共)
- (3) 歌舞伎演出史の研究
 - a) 歌舞伎の演出技法の総合的研究 (41・42, 共)
 - b) 邦楽レコードによる歌舞伎演出の研究 (41・42)
- (4) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)

IV 調 査 研 究

〔II〕 ピッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (41, 共)

演 劇 研 究 室

前 嶋 茂 子

〔I〕 近世音楽の研究

- (1) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)
- (2) 掛踊唄の研究 (42)

〔II〕 中世芸能の研究

- (1) 能の様式の研究 (42, 共)

阿 部 順 子 (非常勤)

〔I〕 近世音楽の研究

- (1) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)

〔II〕 中世芸能の研究

- (1) 能の様式の研究 (42, 共)

宮 本 瑞 夫 (非常勤, 昭和41年5月1日就職)

〔I〕 近世演劇の研究

- (1) 近世演劇の民俗学的研究
 - a) 歌舞伎及びその周辺芸能の民俗学的研究 (41・42)
 - b) 地方芸能文化史における舞台の研究 (41・42)
- (2) 浄瑠璃本の研究
 - a) 浄瑠璃本の所在調査とその書誌的研究 (41・42)

音 楽 舞 踊 研 究 室

横 道 萬里雄 (音楽舞踊研究室長)

〔I〕 中世芸能の音楽的・舞踊的研究

- (1) 能の音楽的・舞踏的研究 (41・42)
- (2) 狂言の音楽的・舞踏的研究 (41・42)
- (3) 声明の研究 (41・42)

〔Ⅱ〕 古典芸能の単元構成の研究

- (1) 能および狂言の動作単元・リズム単元の研究 (41・42)

〔Ⅲ〕 能および狂言における音楽様式の変遷の研究

- (1) 能の小段構造の研究 (41・42)

〔Ⅳ〕 近世演劇の音楽的研究

- (1) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)
- (2) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (41・42, 共)

佐 藤 道 子

〔Ⅰ〕 寺院芸能の研究

- (1) 各宗派声明の比較研究 (41・42)
- (2) 寺院に存在する呪師芸の研究 (41・42)
- (3) 密教行事の研究 (41・42)

〔Ⅱ〕 近世音楽の研究

- (1) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)

〔Ⅲ〕 中世芸能の研究

- (1) 能の様式の研究 (42, 共)

山 路 興 造 (非常勤, 昭和42年4月1日就職)

〔Ⅰ〕 芸能史の民俗学的研究

- (1) 田楽躍の芸態研究 (42)
- (2) 田楽能の謡詞章及び曲目の研究 (42)
- (3) 古猿楽の芸態研究 (42)
- (4) 風流踊り歌謡の比較研究 (42)
 - a) 近世初期風流踊り歌謡 (42)
 - b) 踊り歌と語り物 (42)

IV 調査研究

(5) 現存する神懸り方式の芸能への発展形態の研究

〔Ⅱ〕 近世邦楽のレコード分類による比較研究

(1) 非義太夫系邦楽レコードの分類 (42)

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄 (郷土芸能研究室長)

〔Ⅰ〕 郷土芸能の研究

(1) 田楽の研究 (41・42)

(2) 風流踊の研究 (41・42)

a) 小町踊の研究 (41)

(3) 南島の祭祀と芸能の研究 (41・42)

(4) 念仏芸の研究 (41・42)

a) 念仏狂言の研究 (41)

(5) 神楽技法の研究 (42)

〔Ⅱ〕 ピッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (41, 共)

〔Ⅲ〕 歌舞伎の演出・技法の総合的研究

(1) 歌舞伎音楽の研究 (41・42, 共)

仲 井 幸二郎 (非常勤, 昭和41年5月1日就職)

〔Ⅰ〕 郷土芸能の研究

(1) 神楽台本の調査研究 (41・42)

〔Ⅱ〕 民謡の研究

(1) 民謡資料書目の調査研究 (41・42)

〔Ⅲ〕 近世芸能の研究

(1) 邦楽レコードにおける寄席芸の研究 (41・42)

B 調査研究活動

年・月、場所、内容の順序に記し、末尾に共同調査者等を付載。

浦山政雄(芸能部長)

- | | | | |
|------------------|---------------------|--------------------|--------------------|
| 41・4 | 日本コロムビア社
日本ビクター社 | 邦楽レコード製作年代識別に関する調査 | 横道, 三隅, 佐藤 |
| 41・4 所 | 内 | 田中伝左衛門歌舞伎囃子芸談録音 | 横道, 佐藤, 阿部 |
| 41・4
~41・10 所 | 内 | 「改訂標準日本舞踊譜」編集 | 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 41・4
~43・3 所 | 内 | 歌舞伎音楽 | 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 41・10 | 山形市・上市市 | 山形地方民俗芸能撮影 | |
| 41・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・1 | 国立劇場 | 琉球御冠船踊撮影 | 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・2 | 国立劇場 | 宮内庁舞楽撮影・録音 | 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部, 宮本 |
| 42・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影 | 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・5 東 | 京 | 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 | 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・11 | 天理大学 | 歌舞伎資料調査 | |
| 43・1 | 国立劇場 | ビデオコーダー調査 | 横道, 佐藤, 阿部 |
| 43・3 所 | 内 | 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 | 横道, 三隅, 前嶋, 阿部 |

演劇研究室

前嶋茂子

- | | | | |
|-----------------|-------|------------------|--------------------|
| 41・4
~10 所 | 内 | 「改訂標準日本舞踊譜」編集 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 阿部 |
| 41・4
~43・3 所 | 内 | 歌舞伎音楽 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 阿部 |
| 41・5 | 宮内庁楽部 | 舞楽録音 | 横道, 佐藤, 阿部 |
| 41・9 東 | 京 | 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 | 横道, 三隅, 佐藤, 阿部 |
| 41・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤, 三隅, 阿部 |
| 42・1 | 国立劇場 | 琉球御冠船踊撮影 | 浦山, 横道, 佐藤, 阿部 |
| 42・2 | 国立劇場 | 宮内庁舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤, 阿部, 宮本 |
| 42・2 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影 | 浦山, 横道, 佐藤, 阿部 |
| 42・5
~43・3 所 | 内 | 能楽技法研修会 | 横道, 佐藤, 阿部, 宮本 |

IV 調 査 研 究

42・5 東 京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 阿部
42・6 東 京・横 浜	ビデオコーダー調査	横道, 佐藤, 阿部
42・8 川 口 湖	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 阿部, 宮本
42・9 岐阜 奥明方村	掛踊撮影・録音	三隅
42・10 日 本 青 年 館	全国民俗芸能大会撮影・録音	浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 阿部
42・11 久 保 ホ ー ル	全国青年大会郷土芸能録音	三隅
42・11 所 内	開所記念日黒川能撮影・録音	阿部
42・11 水 道 橋 能 楽 堂	黒川能録音	横道, 佐藤, 阿部
42・12 観 世 会 館	能「鷹姫」撮影・録音	横道, 佐藤, 阿部
42・12 春 日 大 社	若宮おん祭調査	阿部
42・12 東 京	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 阿部, 宮本
42・3 所 内	杵屋栄左衛門所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 横道, 三隅, 阿部

阿 部 順 子 (非常勤)

41・4 ~41・所 10	内 「改訂標準日本舞踊譜」編集	浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋
41・4 ~43・所 3	内 歌舞伎音楽	浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋
41・4 所 内	田中伝左衛門歌舞伎囃子芸談録音	浦山, 横道, 佐藤
41・5 宮 内 庁 楽 部	舞楽録音	横道, 佐藤, 前嶋
41・9 東 京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	横道, 三隅, 佐藤, 前嶋
41・10 日 本 青 年 館	全国民俗芸能大会撮影・録音	浦山, 横道, 三隅, 佐藤
41・11 久 保 ホ ー ル	全国青年大会郷土芸能撮影・録音	三隅
42・1 国 立 劇 場	琉球御冠船踊撮影	浦山, 横道, 佐藤, 前嶋
42・2 国 立 劇 場	宮内庁舞楽撮影・録音	浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 宮本
42・4 宮 内 庁 楽 部	舞楽撮影	浦山, 横道, 佐藤, 前嶋
42・5 ~43・所 3	内 能楽技法研修会	横道, 佐藤, 前嶋, 宮本
42・5 東 京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋
42・6 東 京・横 浜	ビデオコーダー調査	横道, 佐藤, 前嶋
42・8 河 口 湖	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 前嶋, 宮本

- | | | | |
|-------|--------|------------------|--------------------|
| 42・9 | 寛永寺 | 金剛界曼陀羅供録音 | 佐藤 |
| 42・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤, 前嶋 |
| 42・11 | 所内 | 開所記念日黒川能撮影・録音 | 前嶋 |
| 42・11 | 水道橋能楽堂 | 黒川能録音 | 横道, 佐藤, 前嶋 |
| 42・12 | 観世会館 | 能「鷹姫」撮影・録音 | 横道, 佐藤, 前嶋 |
| 42・12 | 春日大社 | 若宮おん祭調査 | 前嶋 |
| 42・12 | 東京 | 能楽技法研修会 | 横道, 佐藤, 前嶋, 宮本 |
| 43・1 | 国立劇場 | ビデオコーダー調査 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 43・2 | 寛永寺 | 涅槃会撮影・録音 | 横道, 佐藤 |
| 43・3 | 東大寺 | 修二会撮影・録音 | 横道, 佐藤 |
| 43・3 | 所内 | 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 | 浦山, 横道, 三隅, 前嶋 |
| 43・3 | 東京 | 能楽技法研修会 | 横道, 佐藤, 宮本 |

宮本 瑞夫 (非常勤, 昭和41年5月1日就職)

- | | | | |
|---------------|--------|--------------------|--------------------|
| 41・4 | 群馬赤城村 | 津久田人形芝居 | |
| 41・4 | 日比谷図書館 | 加賀文庫蔵絵入狂言本・役者評判記撮影 | |
| 41・4 | 大倉集古館 | 近松門左衛門・紀海音の浄瑠璃本撮影 | |
| 41・7 | 岩手一ノ関市 | 奥浄瑠璃録音 | |
| 41・8 | 栃木塩谷郡 | 栗山地区の民俗 | |
| 41・10 | 群馬赤城村 | 津久田人形芝居・歌舞伎絵馬撮影・録音 | |
| 41・11 | 栃木那須郡 | 烏山町下境の地芝居 | |
| 42・1 | 大谷図書館 | 役者の襲名年次・代数・没年 | |
| 42・2 | 国立劇場 | 宮内庁舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・3 | 芸大図書館 | 絵入狂言本撮影 | |
| 42・4 | 千葉 | 浦安・行徳地区の民俗 | |
| 42・4 | 大谷図書館 | 浄瑠璃本 | |
| 42・5
~43・3 | 所内 | 能楽技法研修会 | 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部 |
| 42・7 | 国会図書館 | 地方誌撮影 | |
| 42・8 | 東北地方 | 農山漁村の歌舞伎・人形舞台 | |

IV 調 査 研 究

42・8	川 口 湖	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
42・10 ~11	福 島	南会津地区の歌舞伎舞台	
42・12	芸 大 図 書 館	役者評判記撮影	
42・12	東 京	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
43・1	寛 永 寺	元三会録音	佐藤
43・2	日 比 谷 図 書 館	東京資料室蔵役者評判記撮影	
43・3	東 北 地 方	農山漁村の歌舞伎・人形舞台	
43・3	東 京	能楽技法研修会	横道, 佐藤, 阿部

音 楽 舞 踊 研 究 室

横 道 萬里雄 (音楽舞踊研究室長)

41・4 ~10	所 内	「改訂標準日本舞踊譜」編集	浦山, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部
41・4 ~43・3	所 内	歌舞伎音楽	浦山, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部
41・4	所 内	田中伝左衛門歌舞伎囃子芸談録音	浦山, 佐藤, 阿部
41・4	日本コロムビア社 日本ビクター社	邦楽レコード製作年代識別に関する調査	浦山, 三隅, 佐藤
41・5	宮 内 庁 楽 部	舞楽録音	佐藤, 阿部, 前嶋
41・9	東 京	声明資料調査整理	佐藤
41・9	東 京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	三隅, 佐藤, 阿部, 前嶋
41・10	日 本 青 年 館	全国民俗芸能大会撮影・録音	浦山, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部
41・11	遊 行 寺	別時念仏行事撮影・録音	佐藤
42・1 ~2	山形 櫛 引 町	黒川能王祇祭撮影・録音	佐藤
42・1	国 立 劇 場	琉球御冠船踊撮影	浦山, 佐藤, 前嶋, 阿部
42・2	遊 行 寺	行事次第書撮影	佐藤
42・2	国 立 劇 場	舞楽撮影・録音	浦山, 佐藤, 前嶋, 阿部, 宮本
42・3	東 大 寺	修二会撮影・録音	佐藤
42・3	山形 櫛 引 町	黒川能文書撮影	
42・4	宮 内 庁 楽 部	舞楽撮影	佐藤, 浦山, 阿部, 前嶋

42・5 ~43・3	所	内	能楽技法研修会	佐藤, 阿部, 前嶋, 宮本
42・5	東	京	黒川能文書調査	佐藤
42・5	東	京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 三隅, 佐藤, 阿部, 前嶋
42・6	寛永	寺	合界曼陀羅供録音	佐藤
42・6	寛永	寺	大般若会録音	佐藤
42・6	東京・横浜		ビデオコーダー調査	佐藤, 前嶋, 阿部
42・7	山形 櫛引町		黒川能面装束撮影	
42・7	寛永	寺	施餓鬼会撮影・録音	佐藤
42・8	川口湖		能楽技法研修会	佐藤, 前嶋, 阿部, 宮本
42・10	山形 櫛引町		黒川能調査	
42・10	日本青年館		全国民俗芸能大会撮影・録音	浦山, 三隅, 佐藤, 前嶋, 阿部
42・11	水道橋能楽堂		黒川能録音	佐藤, 阿部, 前嶋
42・12	東	京	能楽技法研修会	佐藤, 前嶋, 阿部, 宮本
43・1	国立劇場		ビデオコーダー調査	浦山, 佐藤, 阿部
43・2	寛永	寺	涅槃会撮影・録音	佐藤, 阿部
43・3	所	内	杵屋栄左衛門所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 三隅, 前嶋, 阿部
43・2 ~3	東大	寺	修二会撮影・録音	佐藤, 阿部
43・3	東	京	能楽技法研修会	佐藤, 阿部, 宮本

佐藤道子

41・4 ~10	所	内	「改訂標準日本舞踊譜」編集	浦山, 横道, 三隅, 前嶋, 阿部
41・4 ~43・3	所	内	歌舞伎音楽	浦山, 横道, 三隅, 前嶋, 阿部
41・4	日本コロムビア社 日本ビクター社		邦楽レコード製作年代識別に関する調査	浦山, 横道, 三隅
41・5	宮内庁楽部		舞楽録音	横道, 前嶋, 阿部
41・6	日本楽器社		レコード関係資料調査	
41・9	東	京	声明資料調査整理	横道
41・9	東	京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	横道, 三隅, 前嶋, 阿部
41・10	日本青年館		全国民俗芸能大会撮影・録音	浦山, 横道, 三隅, 前嶋, 阿部

IV 調 査 研 究

41・11	遊 行 寺	別事念仏行事撮影・録音	横道
42・1	国 立 劇 場	琉球御冠船踊撮影	浦山, 横道, 前嶋, 阿部
42・1 ~2	山形 櫛 引 町	黒川能撮影・録音	横道
42・2	遊 行 寺	行事次第書撮影	横道
42・2	国 立 劇 場	宮内庁舞楽撮影・録音	浦山, 横道, 前嶋, 阿部, 宮本
42・2 ~3	東 大 寺	修二会撮影・録音	横道
42・4	宮 内 庁 楽 部	舞楽撮影	浦山, 横道, 前嶋, 阿部
42・4	東 大 寺	修二会調査	
42・5	東 京	黒川能文書調査	横道
42・5	東 京	杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影	浦山, 横道, 三隅, 前嶋, 阿部
42・5 ~43・3	所 内	能楽技法研修会	横道, 前嶋, 阿部, 宮本
42・6	寛 永 寺	大般若会録音	横道
42・6	寛 永 寺	合界曼陀羅供録音	横道
42・6	東京・横浜	ビデオコーダー調査	浦山, 横道, 前嶋, 阿部
42・7	寛 永 寺	施餓鬼会撮影・録音	横道
42・7	東 大 寺	修二会調査	
42・8	東 大 寺	寺院行事調査	
42・8	川 口 湖	能楽技法研修会	横道, 前嶋, 阿部, 宮本
42・9	寛 永 寺	金剛界曼陀羅供録音	阿部
42・9	寛 永 寺	大般若会調査	
42・10	日 本 青 年 館	全国民芸芸能大会撮影・録音	浦山, 横道, 三隅, 前嶋, 阿部
42・11	水道橋能楽堂	黒川能撮影・録音	横道, 前嶋, 阿部
42・12	観 世 会 館	能「鷹姫」撮影・録音	横道, 前嶋, 阿部
43・1	寛 永 寺	元三会録音	宮本
43・1	寛 永 寺	修正会録音	
43・1	国 立 劇 場	ビデオコーダー調査	浦山, 横道, 阿部
43・2	寛 永 寺	涅槃会撮影・録音	横道, 阿部
43・2 ~3	東 大 寺	修二会撮影・録音	横道, 阿部
43・2	東 京	能楽技法研修会	横道, 阿部, 宮本

山 路 興 造 (非常勤, 昭和42年4月1日就職)

- 42・4 静岡 藤 枝 東光寺猿舞撮影
 42・4 岐阜 高 山 高山祭山車人形撮影
 42・4 滋賀 長 浜 長浜祭り子供歌舞伎撮影
 42・4 愛知 犬 山 犬山祭からくり人形絵画資料
 42・4 静岡 森 小国神社舞楽撮影
 42・4 長野 屋 代 雨の宮御神事撮影
 42・8 新潟 柏 崎 綾子舞・越後ござ撮影
 42・8 鳥 取 因幡地方の雨乞風流踊り歌謡
 42・8 鳥 根 石見地方田唄・踊り歌と津和野盆踊
 42・8 愛媛 宇 和 島 津之浦いさ踊りと南伊予の芸能撮影
 42・8 愛媛 八 幡 浜 川名津神楽と柱松・柱祭撮影
 42・8 愛媛 川 之 浜 東伊予の雨乞風流踊り歌謡
 42・9 奈 良 大和地方の風流踊り歌謡資料
 42・9 滋賀 信 楽 信楽の太鼓踊り歌謡
 42・9 滋賀 草 津 上砥山太鼓踊り撮影
 42・10 鳥 取 市 中国・四国ブロック民俗芸能大会撮影
 42・10 兵庫 但 東 笹ばやし歌謡
 42・10 京都 福 知 山 御勝八幡田楽躍撮影
 42・10 三重 阿 山 山畑かんこ踊り撮影
 42・10 奈良 天 理 天理大図書館蔵延年史料
 42・12 三重 二 木 島 お船祭り撮影
 42・12 広島 安 芸 安芸地区太鼓踊り歌謡文献
 43・1 佐賀 大 浦 修正鬼会撮影
 43・2 岩手 水 沢 日高ばやし撮影
 43・2 岩 手 山屋田植踊り撮影
 43・2 岩 手 犬吠森念仏けんばい撮影
 43・2 岩手 江 刺 江刺ばやしと近辺一帯の芸能
 43・3 長 野 躍念仏撮影

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄 (郷土芸能研究室長)

- 41・4 所 内 「改訂標準日本舞踊譜」編集 浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
 ~10
 41・4 所 内 歌舞伎音楽 浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
 ~43
 3
 41・4 日本コロムビア社 邦楽レコード製作年代識別に関する調査 浦山, 横道, 佐藤
 日本ビクター社
 41・4 奈良 矢 田 寺 練供養撮影・録音
 41・4 京都 壬 生 寺 壬生狂言撮影・録音
 41・5 奈良 当 麻 寺 練供養撮影・録音
 41・5 京都 賀 茂 神社 葵祭撮影
 41・7 長野 上 松 町 木曾盆踊・獅子舞撮影・録音
 41・9 東 京 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 横道, 佐藤, 阿部, 前嶋
 41・10 岩手 毛 越 寺 延年撮影
 41・10 福 岡 九州ブロック民俗芸能大会撮影・録音
 41・10 日 本 青 年 館 全国民俗芸能大会撮影・録音 浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
 41・11 久 保 ホール 全国青年大会郷土芸能撮影・録音
 41・12 沖縄 久 高 島 イザイホール撮影・録音
 42・1 岩手 毛 越 寺 延年撮影・録音
 42・3 茨城 水 戸 市 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音
 42・4 青森 八 戸 市 鯨神楽撮影・録音
 42・4 青森 む つ 市 おしら祭文撮影・録音
 42・5 東 京 杵屋栄二所蔵歌舞伎下座ツケ帳撮影 浦山, 横道, 佐藤, 阿部, 前嶋
 42・7 青森 八 戸 市 鯨神楽台本
 42・8 山口 下 関 市 数方庭祭撮影
 42・8 島根 津 和 野 町 盆踊撮影
 42・8 岩手 盛 岡 市 東北ブロック民俗芸能大会撮影・録音
 42・8 青森 八 戸 市 三社大祭・念仏芸能撮影・録音
 42・9 岐阜 奥 明 方 村 掛踊撮影・録音 前嶋

- 42・10 日本青年館 全国民俗芸能大会撮影・録音 浦山, 横道, 佐藤, 前嶋, 阿部
- 42・11 千葉 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音
- 42・11 久保ホール 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 前嶋
- 42・11 沖縄 沖縄歌劇・古典舞踊撮影・録音
- 42・11 大阪 演劇資料調査
~12
- 43・1 長野 阿南町 雪祭撮影
- 43・2 岩手 東和町 田植踊撮影

仲井 幸二郎 (非常勤, 昭和41年5月1日就職)

- 41・4 東京 民俗芸能関係書目調査
- 41・4
~42・東 京 民謡集書目調査
3
- 41・8 茨城・福島 金砂田楽調査ほか
- 42・4
~43・東 京 民謡歌詞調査
3

C 主要研究業績

①は著書, ②は論文, ③は解説, ④は研究発表, ⑤は講演・放送, ⑥はその他等の種別を示し, 題名, 発表場所 (発行所, 掲載誌, 講演場所, 放送局等), 発表年・月の順序に記す。

浦山 政雄 (芸能部長)

- ①四世鶴屋南北作者年表 (芸能の科学1) 東京国立文化財研究所 42・3
- ②近世歌謡の音楽伝承 国語と国文学 41・10
- 鳴神劇の伝系 日本女子大学国語国文学論究 42・6
- ③歌舞伎について 毎日新聞社・人間国宝 42・3
- 豊竹若大夫の憶い出 小原流挿花 42・10
- 「忠臣蔵岡目評判」と「忠臣蔵偏痴気論」 国文学解釈と鑑賞 42・12
- ⑤日本の教育「国立劇場のこれから」対談 NETテレビ 41・12
- 長唄「土蜘蛛」解説 NHK第2放送 42・6
- 無形文化財と歌舞伎 東京文化会館 42・9
- 歌舞伎の技法——チョボの特質—— 朝日講堂 42・10

演 劇 研 究 室

宮 本 瑞 夫 (非常勤, 昭和41年5月1日就職)

- ②(3)生業と民具 (1)郷土芸能 (『栗山の民俗』) 栃木県教育委員会 42・4
- 「仮名手本忠臣蔵」研究文献目録 解釈と鑑賞 第32巻第12号 42・12
- ③「とはずがたり」注解拾遺(2)巻の一 共編 立教大学日本文学 第17号 41・11
- 足駄・油障子等民俗・風俗項目 (『大日本百科事典ジャポニカ1』) 小学館 42・11
- 市女笠・井戸等民俗・風俗項目 (『大日本百科事典ジャポニカ2』) 小学館 43・3
- ④天神記について 近松の会 41・10
- 享保期歌舞伎の立廻りについて 立教大学日文学会大会 42・10
- ⑤タテの変遷 朝日講堂 42・10
- ⑥『平安時代の文学と生活』(池田亀鑑著)の編集・図版解説 至文堂 41・6
- 『今昔物語』への道・王朝のヒューマンコメディのキャプション
(『日本文学の歴史4 復古と革新』) 角川書店 42・8

音 楽 舞 踊 研 究 室

横 道 萬里雄 (音楽舞蹈研究室長)

- ②黒川能の概観 平凡社・黒川能 42・12
- ③喜多六平太・近藤乾三・松本謙三 毎日新聞社・人間国宝 42・3
- ④東西の音楽観——日本の中世—— 東洋音楽学会 42・9
- ⑤日本音楽道しるべ NHK 41・4
~43・2
- 能の特質 司法研修所 41・5
- 能と狂言の特質 テレビタレントセンター 41・6
- 能の動きと踊り 舞踊家研修指導講習会 41・8
- 仮面 NHK 41・8
- 能の概観 外務研修所 41・10

能の美	古典舞踊伝承者育成会	42・3
世阿弥の芸術	夜能研学会	42・6 ~9
黒川能について	能楽懇談会	42・11
黒川能の技法	東京国立博物館講堂	42・11
日本の音楽	NHK	42・12
⑥芸術祭能の会(企画)	水道橋能楽堂	41・10
芸術祭・語り物の系譜(企画)	三越劇場	41・10
芸術祭能の会(企画)	水道橋能楽堂	42・10
芸術祭・黒川能(企画)	水道橋能楽堂	42・11
黒川能(編書)	平凡社	42・12

佐藤道子

③早春の賦——二月堂お水取り——	三彩社・お水取り	43・3
⑤歌舞伎の技法——扮装様式とその背景——	朝日講堂	42・10
雪の王祇祭	東京国立博物館講堂	42・11

山路興造(非常勤、昭和42年4月1日就職)

②田楽能曲考序説	芸能史研究17	42・4
因幡の雨乞風流踊——やゝこおどりの残る歌謡——	民俗芸能32	43・3
③芸能暦——7・8・9月——	民俗芸能29	42・7
四国路のまつり	日本の美 四国篇	42・8
芸能暦——10・11・12月——	民俗芸能30	42・9
芸能暦——1・2・3月——	民俗芸能31	42・12
北九州のまつりと芸能	日本の美 北九州篇	43・1
芸能暦——4・5・6月——	民俗芸能32	43・3
④丹後但馬の田楽踊	芸能史研究会	42・10
神がかりの方式と芸能	民俗学会談話会	42・10
⑤歌舞伎大道具の構造	朝日講堂	42・10
⑥民俗舞踊研究会“藍の会”実演解説	民俗舞踊研究“藍の会”	43・1

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄 (郷土芸能研究室長)

- ① 鮫神楽台本集成 (芸能の科学2, 共著) 東京国立文化財研究所 42・3
- 日本舞踊史の研究 東京堂出版 43・3
- ② 大道芸人資料1 芸能 8の8 41・8
- 諸鈍芝居 民俗芸能28 41・10
- 鬼来迎考説 (下) 房総文化 8 41・10
- 日本民俗芸能系譜 (「日本の民謡と民俗芸能」) 東洋音楽選書 1 42・6
- 組踊「執心鐘入」由来 道成寺三態 42・3
- 蒲葵の島の巫女の祭 日本文学論究26 42・7
- 風流 解釈と鑑賞 32の9 42・8
- 南島の歌謡とその民俗 日本歌謡研究 5 42・9
- 江戸期の祭り (日本歴史シリーズ15) 世界文化社 42・10
- ③ 「藍と白と紅」を見て 歌劇 478 41・4
- 沖縄舞踊界に望むこと 花かんざし 1 41・4
- 久高島のイザイホー 琉球新報 41・12
- 壬生狂言——舞台・扮装・楽器—— 国立劇場プロ 41・12
- イザイホーの祭と民俗 静岡新聞 その他 42・1
- 冠船踊曲目解説 国立劇場プロ 42・1
- 沖縄の組踊 朝日ジャーナル 42・2
- 沖縄芸能をみて 沖縄タイムス 42・2
- 道成寺三態 朝日グラフ 42・3
- 花風流 歌劇 492 42・6
- 伝統芸術の支持者に 朝日新聞 42・7
- 二本島の船祭 民俗芸能30 42・10
- 民俗芸能項目 (「大日本百科辞典」ジャポニカ 1) 小学館 42・11
- 琉球歌劇の上演 琉球新報 42・11

日本の祭り〔『玉川児童百科大辞典』17〕	玉川大学	43・1
鯨の神楽——概説と曲目解説——	国立劇場プロ	43・2
日本の舞踊（1～3）	小原流揮花（1～3）	43・1 ～3
祭り歳時記（1月～3月）	俳句（1～3）	43・1 ～3
琉球の歌劇——概説と曲目解説——	国立劇場プロ	43・2
⑤民間信仰とその芸能（毎月1回）	FM東海	41・4 ～12
八重山の芸能	長崎市公会堂ほか	41・5
日本の民俗芸能	若柳会	41・7
日本芸能の流れ	華道学術講座	41・9
日本芸能の伝統	立川二中PTA	41・11
沖繩の道成寺	伝統芸術の会	42・3
南島の歌謡と民俗	日本歌謡学会	42・6
東北の民謡とその本質	NHKラジオ	42・8
日本の打楽器	NHKテレビ	42・8
いなかの美学	華道学術講座	42・9
芸能史と琉球	和洋女子大国文学会	42・6

仲 井 幸二郎（非常勤，昭和41年5月1日就職）

①鯨神楽台本集成（芸能の科学2，共著）	東京国立文化財研究所	42・3
②民謡研究の問題点	日本歌謡研究4	41・10
③東北民謡集 岩手	芸能 9～6	42・6
④民謡研究の問題点	日本歌謡学会	41・5
金砂の田楽と水木の浜	慶応義塾大学言語文化研究所	41・9
民謡集書目一覧	慶応義塾大学言語文化研究所	42・1
芸能喜劇論 1	慶応義塾大学言語文化研究所	42・10
民俗生活における民謡の位置	慶応義塾大学国文学研究会	42・12

3 保 存 科 学 部

A 研 究 題 目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を，共は共同研究を示す。

化 学 研 究 室

岩 崎 友 吉 (化学研究室長)

〔I〕 文化財保存のための薬剤の研究

- (1) 絵画保存修理用の合成樹脂 (41~42, 共)
- (2) 遺蹟保存用の薬剤 (41~42, 共)
- (3) 発掘品保存用の薬剤 (41~42, 共)
- (4) 防虫, 防霉, 防錆剤, 撥水剤 (41~42)
- (5) 擬石, 人工木材 (41~42, 共)

〔II〕 文化財の保存技術に於ける化学的研究

- (1) うるし, 糊薬等の物質的変壊 (41~42)
- (2) 漂白技術 (41~42)
- (3) 発掘現場に於ける応急処置 (41~42, 共)
- (4) 超音波と合成樹脂の併用による発掘品の洗滌 (41~42)
- (5) 凍結乾燥の発掘品保存への応用 (41~42, 共)
- (6) 収蔵庫内の化学的影響因子 (41~42, 共)
- (7) 老化試験 (41~42, 共)

〔III〕 文化財の材質の研究

- (1) 古代ガラス (41~42)
- (2) 和 紙 (41~42)
- (3) 絵画資材 (41~42)

〔IV〕 伝統的保存技術の研究 (41~42, 共)

〔V〕 海外に於ける文化財保存技術との関連研究 (41)

〔VI〕 陳列室並びに収蔵庫内の温湿度および汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究 (42, 共)

江 本 義 理 (主任研究官)

〔I〕 文化財の材質に関する研究

(1) 非破壊の方法および微量試料による分析法の検討とその感度、精度の向上に関する研究 (41~42)

(2) X線分析法による材質の判定、変質および技法に関する研究 (41~42)

(3) 赤外線分析法による " (42)

(4) ガスクロマトグラフィーによる " (42, 共)

(5) 熱分析法による材質研究の検討 (42)

(6) 智光曼荼羅の総合的研究 (41, 共)

a 顔料などの材質および技法の科学的研究

(7) 近世初期日本洋風美術の実証的研究 (42, 共)

a 顔料などの材質および技法の科学的研究

〔II〕 空気汚染の文化財に及ぼす影響に関する研究

(1) 汚染度の測定 (41~42, 共)

(2) 大気腐食に関する研究 (41~42)

(3) 保存環境および影響調査 (41~42)

(4) 大気汚染に関する基礎的研究——主として標準測定法の研究ならびに汚染の成因、挙動の化学的究明 (41, 共)

〔III〕 科学的鑑定の基礎データの蒐集 (41~42)

〔IV〕 出土木製品の変色に関する研究 (41)

〔V〕 陳列室ならびに収蔵庫内の温湿度および汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究 (42, 共)

(1) 汚染因子の究明

(2) 大気腐食の調査

〔VI〕 年代測定に関する研究 (42)

樋 口 清 治

- 〔Ⅰ〕 彩色顔料剝落どめ処置の研究
 - (1) 変性アクリルエマルジョンの応用 (41~42)
 - (2) 剝落状態とその崩壊機構の関係 (41~42)
- 〔Ⅱ〕 出土木製品保存処置の研究
 - (1) 凍結真空乾燥法の改良 (41~42, 共)
 - (2) P. E. Gその他の方法による比較研究 (41~42, 共)
- 〔Ⅲ〕 合成樹脂の減圧含浸による保存処置
 - (1) 出土鉄製品の強化および防錆 (41~42)
 - (2) 脆弱化した木、骨、石等に対する処置 (41~42)
- 〔Ⅳ〕 発泡合成樹脂の文化財修理への応用 (41~42)
- 〔Ⅴ〕 遺跡の保存処置に関する研究 (41~42, 共)

門 倉 武 夫

- 〔Ⅰ〕 空気汚染が文化財に及ぼす影響に関する研究
 - (1) ガスクロマトグラフィーによる汚染因子の究明および同定法の研究 (42, 共)
 - (2) 空気中のイオウ酸化物、硫化水素の測定 (41~42, 共)
 - (3) 曝露試験結果と汚染度との関係について追究 (41~42, 共)
 - (4) 大気汚染に関する基礎的研究——主として標準測定法の研究ならびに汚染の成因、挙動の化学的究明 (41, 共)
- 〔Ⅱ〕 文化財の材質に関する研究
 - (1) ガスクロマトグラフィーの応用研究 (41~42, 共)
 - a) ガスクロマトグラフィーによる分析および同定法の研究 (41~42, 共)
 - (2) 文化財に対するミクロの応用
 - a) スポット分析の研究 (41~42)
 - b) 顕微鏡用試料の作成法について (41~42)
- 〔Ⅲ〕 陳列室並びに収蔵庫内の温湿度および汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究 (42, 共)

物理研究室

登石健三（物理研究室長）

〔Ⅰ〕 照明に関する研究

(1) 博物館照明光源

- a) 螢光灯その他の光源の分光エネルギー分布測定と検討（41～42, 共）
- b) 赤外線吸収フィルターの性能（41～42, 共）

(2) 撮影時の照明

- a) 文化財に及ぼす熱効果（41）
- b) フラッシュ、ストロボの危険度（41）

〔Ⅱ〕 保存環境に関する研究

(1) 室内空気状況（41～42, 共）

- a) コンクリートを原因とする苛性浮遊物

(2) 温湿度調節（41～42, 共）

〔Ⅲ〕 文化財の輸送

(1) ジェット輸送中の状況（41, 共）

〔Ⅳ〕 光学的方法による古美術品の研究

(1) 仏像体内銘の撮影（41, 共）

(2) ガンマー線による金属製品の透視（41～42, 共）

(3) X線による透視

- a) 中尊寺巻柱（41～42, 共）
- b) 48体仏光背（41～42, 共）

〔Ⅴ〕 材質劣化に関する研究

(1) 漆膜の紫外線による劣化（41, 共）

(2) 強度試験による日本紙の劣化（42, 共）

(3) 変褪色の研究（41～42, 共）

- a) 岩絵具の褪色
- b) 油絵の劣化と対策処置

〔VI〕 材料の吸放湿性

- (1) 木材の吸放湿性 (41~42, 共)
- (2) シリカゲルの吸放湿性の建築への応用 (41~42)

〔VII〕 陳列室並びに収蔵庫の室内温湿度及び汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究

- (1) 室内温湿度の経年変化 (41~42, 共)
- (2) " 苛性度の " (41~42, 共)

見 城 敏 子

〔I〕 保存環境に関する研究

- (1) 室内空気状況 (41~42, 共)
 - a) コンクリートを原因とする苛性浮遊物
- (2) 温湿度調節 (41~42, 共)
- (3) 湿度計の劣化対策の研究 (41~42, 共)

〔II〕 材料の吸放湿性

- (1) 木材の吸放湿性 (41~42, 共)
- (2) シリカゲルの吸放湿性の建築への応用 (41~42, 共)

〔III〕 材質劣化に関する研究

- (1) 変褪色の研究 (41~42, 共)
 - a) 岩絵具の褪色
 - b) 染料の褪色
- (2) 油絵の劣化と対策処置 (41~42, 共)
- (3) うるしの光による劣化

〔IV〕 陳列室並びに収蔵庫の室内温湿度及び汚染空気が美術品等に及ぼす影響とその防除についての研究

- (1) 室内温湿度の経年変化 (41~42, 共)
- (2) " 苛性度の " (41~42, 共)

石 川 陸 郎

〔I〕 照明に関する研究

- (1) 博物館照明光源 (41~42, 共)
 - a) 蛍光灯その他の光源の分光エネルギー分布測定と検討
- (2) 撮影時の照明 (41~42, 共)
 - a) 文化財に及ぼす熱効果
 - b) フラッシュ, ストロボの危険度

〔II〕 光学的方法による古美術品の研究

- (1) ガンマー線による金属製品の透視 (41~42, 共)
- (2) X線による透視 (41~42, 共)
 - a) 中尊寺巻柱
 - b) 48体仏光背
 - c) 漆芸品
- (3) 仏像体内銘の撮影 (41, 共)

〔III〕 材質劣化に関する研究

- (1) 変褪色の研究 (41~42, 共)
 - a) 岩絵具の褪色

〔IV〕 陳列室並びに収蔵庫の室内温度及び汚染空気が美術品等に及ぼす影響とその防除についての研究

- (1) 室内温湿度の経年変化 (41~42, 共)
- (2) 室内苛性度の経年変化 (41~42, 共)

生 物 研 究 室

江 本 義 数 (非常勤)

〔I〕 国宝, 重要文化財建造物及び美術品の被害と防除

- (1) 空中微生物殊に糸状菌の採取, 純粋培養, 種の決定 (41~42)
- (2) 腐朽木材より菌の分離培養と防除 (41~42)
- (3) 美術品に発生した菌の培養, 防除及び保存の方法 (41~42)

IV 調査研究

- 〔Ⅱ〕 国宝、重要文化財建造物等の材質研究 (41~42)
- 〔Ⅲ〕 糸状菌と湿度との関係 (41~42)
- 〔Ⅳ〕 陳列室並びに収蔵庫内の温湿度および汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究 (42, 共)

修理技術研究室

立 田 三 朗 (修理技術研究室長)

- 〔Ⅰ〕 文化財の伝統的修理技法の調査および記録作製 (41~42)
- 〔Ⅱ〕 X線分析による材質調査をもととする技法研究 (41~42)
- 〔Ⅲ〕 X線透視による構造、材質、および技法研究 (41~42, 共)
- 〔Ⅳ〕 冠水、膠着硬化した書籍等の展開についての技法研究 (41~42)
- 〔Ⅴ〕 合成樹脂による文化財の保存技術の研究
 - (1) 彩色剥落防止 (41~42, 共)
 - (2) 材質強化 (41~42, 共)
 - (3) 金属の錆化、崩壊防止 (41~42, 共)
- 〔Ⅵ〕 陳列室並びに収蔵庫内の温湿度および汚染空気が美術品に及ぼす影響とその防除についての研究 (42, 共)
- 〔Ⅶ〕 鎌倉時代の鋳造技法の研究 (42)

中 里 寿 克

- 〔Ⅰ〕 文化財の伝統的修理技法の調査及び記録作製 (41~42, 共)
- 〔Ⅱ〕 レントゲンによる染芸品、その他金工品の材質及び構造調査 (41~42, 共)
- 〔Ⅲ〕 中尊寺金色堂部材の調査及研究 (41~42, 共)
- 〔Ⅳ〕 中世漆芸品の金銀粉の調査研究 (41)
- 〔Ⅴ〕 主に東北地方を中心とする砂金の採取とその成分、更に蒔絵との関係について (41)

茂 木 曙

- 〔Ⅰ〕 文化財の伝統的修理技法の調査及び記録作製 (41~42, 共)

〔Ⅱ〕 中尊寺「しぼり経」の展開法についての研究 (41~42, 共)

〔Ⅲ〕 合成樹脂による文化財の修理技術の研究 (41~42, 共)

〔Ⅳ〕 中尊寺金色堂部材の調査および研究 (41~42, 共)

〔Ⅴ〕 受託研究による科学的保存処置 (41~42, 共)

B 調査研究活動

年・月, 場所, 内容の順序に記し, 末尾に共同調査者を付載。括弧内の氏名は所外者。場所の記入のないのは研究所内で行われたもの。

化学研究室

岩崎友吉(化学研究室長)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------------------------|--------|
| 41・4
~6 | アラブ連合カイロ | 文化財特に出土木製品保存処置のコンサルタ
ントとして | |
| 41・6 | 松戸市 | 剝舟保存調査 | 樋口 |
| 41・6
~7 | 神奈川県二宮町 | 古墳壁画保存処置 | |
| 41・7 | 千葉県印西町木下 | 貝層保存処置調査 | |
| 41・7 | 文化財保護委員会 | 文化財防災懇談会 | |
| 41・7 | 岡崎市伊賀八幡宮 | 風蝕材保存処置指導 | |
| 41・8 | 東京都 | ミロ展出品のための到着絵画被害調査 | |
| 41・9 | 京都市 知恩院 | 経蔵内部彩色剝落どめ指導 | |
| 41・9
~10 | 沖縄 宮古島 | ドイツ皇帝博愛記念碑保存処置調査 | |
| 41・10 | 東京都 常憲院廟 | 礎石欠損部修理指導 | 樋口 |
| 41・11 | 仙台市大崎八幡神社 | 内部彩色剝落どめ指導 | 樋口 |
| 41・11
12 | 沖縄 宮古島 | ドイツ皇帝博愛記念碑保存作業指導 | |
| 41・12 | 平城宮跡 | 発掘品の保存処置指導 | 樋口 |
| 42・1 | 千葉県印西町木下 | 貝層保存処置実験 | 樋口 |
| 42・1 | 浜松市 蜷塚 | 貝層の保存 | 樋口, 茂木 |
| 42・2 | 京都市 東福寺 | 三門上層内部彩色剝落どめ指導 | |
| 42・2 | 宮崎市宮崎県立博物館 | 鉄製出土品の保存処置指導 | 樋口 |

IV 調 査 研 究

42・2	千葉県富津海洋資料館	刳舟保存調査	
42・2	神奈川県立博物館	館内状態の化学的調査	門倉
42・3	能本市千金甲	古墳保存処置指導	樋口
42・3	箕面市, 尼崎市	遺跡保存の実態調査	樋口
42・3	東京国立博物館	カナダ・モントリオール世界博出陳物殺虫	
42・4	東京都妙定院	収蔵庫殺虫指導	
42・4	日光市輪王寺	板絵保存処置指導	
42・5 ~5	松戸市	丸木舟(出土品)保存処置指導	
42・5	沖縄那覇市	円覚寺放生橋保存処置指導	
42・5	奈良県法隆寺	金堂壁画模作パネル調査(1)	
42・6	大阪市難波宮址	遺跡保存指導	
42・6		表具技術の実技の研究	
42・7	京都府浄瑠璃寺	三重塔内部彩色剝落どめ指導	
42・7	千葉県印西町	木下貝層保存調査	
42・7	奈良県法隆寺	金堂壁画模作パネル調査(2)	
42・9	京都市清水寺	絵馬汚染調査	
42・9	豊中市勝部遺跡	発掘人骨等保存処置指導	
42・9 ~11	ハワイ, ホノルル	ホノルル・アカデミー・オヴ・アーツ及びビショップ博物館に対する文化財保存指導	
42・11 ~12	東京都及び京都市等	東洋美術専門家会議出席(理論的及び実技的協力)	ユネスコおよび国際博物館会議
42・2	宮崎県立博物館	鉄製出土品其他保存処置指導	
43・3	京都市東福寺	三門上層彩色剝落どめ指導	
43・3		沖縄建造物彩色研究, 指導	
43・3	浜松市蜷塚	貝塚保存処置指導	
43・3	奈良市平城宮跡	出土木製保存処置研究	
43・3	横浜市神ノ木台遺跡	遺跡の部分的保存処置の指導	
43・3	仙台市大崎八幡	内部彩色剝落どめ指導	

江 本 義 理 (主任研究官)

41・4 ~		各地汚染度の測定(二酸化鉛法) 9地区29ヶ所	門倉
41・4 ~5	川口市	世良田東照宮鉄灯籠修理指導	立田, 樋口

41・6 7,8,9, 11	奈良 元興寺	智光曼荼羅板曼荼羅その他の調査	
42・1			
41・9	岡 山 城	天守閣陳列場内の保存環境調査	登石
41・9	箱根美術館	空気汚染の影響調査	
41・9 ~10	東京 常憲院廟	彩色, 塗装, 顔料等材質調査	
41・12	奈良 平城宮跡	出土木材保存処置指導	岩崎, 樋口
42・1	京都 清水寺	絵馬(末吉船)保存処置調査	
42・2	岡山 西大寺	空気汚染の影響調査	門倉
42・3	津 三重県立大医	大気汚染因子測定法研究	門倉
42・3	箱根美術館	汚染空気の影響調査	
42・3	仙台 東北大	出土遺品材質研究	
42・5	箱根美術館	汚染空気の影響調査	
42・6	奈良研・平城宮跡	出土木簡保存処置指導	樋口
42・7	法 隆 寺	金堂壁画再現テストパネル現地調査	
42・8	埼玉・長瀬・秩父 鉾山	和銅などの試料採取	
42・10	法 隆 寺	金堂壁画再現テストパネル現地調査	
42・10		京都清水寺絵馬末吉船調査	
42・11	京都 知恩院, 妙 蓮寺, 大覚寺, 高 山寺 宇治 平等院	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	門倉
42・12	京大・人文科学研 究所	自然科学的年代測定シンポジウム	
42・12	鎌倉 青蓮寺, 杉 本寺	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	門倉
42・12	奈良研・平城宮跡	出土木器の保存処置調査	樋口
43・1	鎌倉 青蓮寺, 杉 本寺	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	門倉
43・1 ~3		中尊寺金色堂巻柱調査	
43・3	神戸 南蛮美術館 大阪 南蛮文化館	初期洋風画調査ならびに撮影	
43・3	奈良研・平城宮跡	出土遺物の保存処置調査	樋口

樋 口 清 治

41・4		聖観音(彩色木像)保存処置	立田, 中里
------	--	---------------	--------

IV 調 査 研 究

41・4 ~5	川口市	世良田東照宮鉄灯籠修理指導	立田, 江本
41・5		八代神社鉄鍬形保存処置	立田, 中里
41・6		小菅神社馬頭観音(木像)保存処置	立田, 中里
41・6	松戸市	剝舟保存調査	岩崎
41・6 ~7	神奈川県 二宮町	横穴古墳壁画抜取保存処置	岩崎
41・6 ~11	横浜市 三 殿 台	遺跡保存処置	
41・7	岡崎市伊賀八幡宮	風蝕木材の保存処置指導	岩崎
41・10	東京都 常憲院廟	礎石欠損部修理	岩崎
41・11	京都市 知 恩 院	経蔵内部彩色剥落どめ	岩崎, 茂木, 中里
41・12	仙台市 瑞 巖 寺	襖絵保存処置調査	茂木
41・12	奈良市 平 城 宮	跡出土木材保存処置指導	岩崎
42・1	浜松市 鯉 塚	貝塚保存処置	岩崎, 茂木
42・1	千葉県 印 西 町	木下貝層保存処置調査	岩崎
42・2	宮崎市	鉄製出土品の保存処置	岩崎
42・1 ~3	栃木県 輪 王 寺	神像保存処置	岩崎, 立田, 中里, 茂木
42・3	熊本市 千 金 甲	装飾古墳柳障保存処置	岩崎
42・3	箕面市 尼ヶ崎市	遺蹟保存の実態調査	岩崎
42・5 ~5	松戸市	合成樹脂溶液の浸漬による丸木舟の保存処置	岩崎, 中里, 茂木
42・5	和歌山県有田市金屋町	明恵上人遺跡卒塔婆保存修理に関する調査	
42・6 ~7	千葉県 富 津	剝舟の合成樹脂による保存処置	岩崎, 中里, 茂木
42・6 ~8		受託研究「瑞巖寺襖絵保存処置」の調査研究	岩崎, 修理技術研究室
42・6	奈良研・平城宮跡	出土木材保存処置に関する研究調査	江本
42・7	千葉県 木 下	天然記念物「木下貝層」保存処置に関する調査	岩崎
42・9	仙台市	大崎八幡神社彩色剥落どめ調査	立田, 茂木
42・10	奈良市 元 興 寺	極楽坊国宝五重小塔修理のための合成樹脂の指導	
42・10	京都市	受託研究「浄瑠璃寺彩色剥落どめ」調査	中里, 茂木
42・11	京都市	受託研究「東福寺山門彩色剥落どめ」調査	立田, 茂木
42・12		清水寺絵馬の汚染因子の調査	岩崎, 江本

42・12	平 城 宮 跡	出土木材保存処置に関する調査	江本, 門倉
43・2	和歌山県 有田市	明恵上人遺跡卒塔婆保存修理の指導	
43・2	宮崎市	宮崎県立博物館出土鉄製品の保存処置指導	岩崎
43・3	浜松市	蜆塚貝塚保存処置調査	岩崎, 茂木
43・3	平 城 宮 跡	出土木製品処置方法の調査	岩崎, 江本
43・3	和歌山県 金屋町	明恵上人遺跡卒塔婆保存修理の指導	

門 倉 武 夫

41・4 ~	東京 上野公園	亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法 6ヶ所)	江本
41・4 ~	東京 浅草寺	" (" 3ヶ所)	"
41・4 ~	横浜 三溪園	" (" 7ヶ所)	"
41・4 ~	京都国立博物館	" (" 6ヶ所)	"
41・4 ~	東京都 府中市 下八王子市	" (" 3ヶ所)	"
41・4 ~	東京 新宿地区	" (過酸化鉛法)	"
41・4 ~	宇治 平等院	" (")	"
41・4 ~	熱海 美術館	" (")	"
41・4 ~	箱根 美術館	" (")	"
41・4		亜硫酸ガス測定 (ロザニン法)	"
41・8		古文化財の顕微鏡用試料の作成法研究	"
41・8		明治村塗料の顕微鏡写真撮影	"
41・9 ~10		中尊寺金色堂漆材料の顕微鏡撮影	"
42・2	岡山県 西大寺市	観音院空気汚染による影響調査	江本
42・2	京都国立博物館	空気汚染の影響調査	江本
42・2	神奈川県立博物館	博物館建造物内部の状態の化学的調査	岩崎, 登石
42・3	三重県津市	大気汚染因子測定法の研究	江本
42・4 ~		東京, 横浜, 京都, 宇治, 箱根, 熱海等の博物館美術館, 寺院の各々屋内外に於て計24ヶ所の空気汚染度を測定	江本
42・11 ~		ガスクロマトグラフィーによる汚染因子追究のための室内外の空気試料採取および分析	江本
42・11	京都知恩院, 妙蓮寺, 大蔵寺, 高山寺	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	江本

IV 調 査 研 究

	宇治	平等院	(ガスクロマトグラフィー用試料採取)	
42・12			ガスクロマトグラフィーによる, うるし, 膠の分析法研究	江本
42・12	鎌倉	杉本寺, 青蓮寺	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	江本
42・12	東京	山種美術館	陳列室内および収蔵庫内外の空気試料採取	江本
43・1	鎌倉	杉本寺, 青蓮寺	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	江本
43・2	鎌倉	杉本寺, 青蓮寺	収蔵庫内の文化財保存環境調査	江本
43・2	京都 妙蓮寺 高山寺 宇治	知恩院, 大覚寺 平等院	収蔵庫内外の文化財保存環境調査	江本

物 理 研 究 室

登 石 健 三 (物理研究室長)

41・3 ~4	法 隆 寺	焼損壁画の分光反射率測定と斑点調査	石川
41・5 ~	"	法隆寺宝物館列品のX線調査	石川
41・6	スポーツ博物館	収蔵庫内状態調査	見城
41・6	東京芸術大学	図書資料館内 "	"
41・6	京都府	9ヶ寺収蔵庫内 "	"
41・6 ~10	五島美術館 東京国立博物館	源氏物語絵巻のケース収納	見城
41・8	富士銀行	オリンピック旗保存のため館内状態調査	
41・8	中 尊 寺	金色堂外陣囲壁X線調査	石川
41・9	霊友会博物館	館内状態調査	
41・9	山種美術館	"	
41・9	岡 山 城	"	江本理
41・12 ~42・3	東京国立博物館	オキナワ展梱包と開梱湿度調節	見城, 石川
41・12	西洋美術館	ロシア展の際の館内湿度測定	門倉
42・2 ~3	明治神宮	鳥居腐朽X線調査	石川
42・2	京都国立博物館	空気調節状況調査	
42・2 ~	神奈川県立博物館	館内空気状態調査	
42・3	東京国立博物館	カナダ万国博出品物の梱包湿度調節	見城, 石川

42・4	川崎市民館	展示状態調査	
42・4 ~43・3	東京国立博物館	東洋館照明並に館内状態調査	見城, 石川
42・4 ~42・11	神奈川県立博物館	館内状態調査	見城
42・6, 43・2	富士銀行	オリンピック旗保存状態調査	
42・9, 11, 12, 43・1, 2	黒田記念館	館内状態調査	見城
42・7 10	法隆寺	金堂壁画摸作パネル調査	
42・8 43・2	二条城	撮影についての指導と調査	
42・11	東京国立博物館	カナダ万国博出陳物開梱に伴う調査	
42・12	鎌倉 杉本寺 青蓮寺	収蔵庫内調査	見城, 石川
43・1	府中郷土館	館内状態調査	
43・1	信貴山 高野山 比叡山	収蔵庫内状態調査	
43・3	知恩院, 妙蓮寺, 高山寺, 大覚寺, 平等院	収蔵庫内状態調査	見城, 石川
43・3	法隆寺	焼損壁画調査	石川

見城敏子

41・6	東京スポーツ博物館	収蔵庫内状態調査	登石
41・6	東京芸術大学	図書資料館内 "	"
41・6 ~10	五島美術館 東京国立博物館	源氏物語絵巻のケース収納	"
41・12 ~42・3	東京国立博物館	オキナワ展梱包と開梱湿度調節	"
42・3	"	カナダ万国博出品物の梱包湿度調節	"
42・4 ~43・3	東京国立博物館	東洋館照明並びに館内状態調査	登石, 石川
42・11	神奈川県立博物館	館内状態調査	登石
42・9, 11, 12, 43・1, 2	黒田記念館	館内状態調査	"
42・7 ~43・3	鎌倉 杉本寺, 青蓮寺	収蔵庫内の調査	登石, 石川
42・11	京都 知恩院, 妙蓮寺, 高山寺, 大覚寺, 平等院	収蔵庫内状態調査	石川
43・3	知恩院, 杉本寺, 高山寺, 大覚寺, 平等院	" "	登石, 石川

石 川 陸 郎

41・3 ~4	奈良 法 隆 寺	焼損壁画の分光反射率測定と斑点調査	登石
41・5 ~	東京国立博物館	法隆寺宝物館列品のX線調査	登石, 中里
41・8	岩手 中 尊 寺	金色堂外陣囲壁X線調査	登石
41・9	岩手 中 尊 寺	金色堂外陣囲壁特殊光線による写真撮影	登石
41・9	東京 根津美術館	宝相華銀平文袈裟宮構造調査	中里
41・12 ~42・3	東京 国立博物館	沖繩展梱包と開梱温度調節	登石, 見城
42・2 ~3	東京 明 治 神 宮	鳥居腐朽X線調査	登石
42・3 ~	東京 国立博物館	カナダ万国博出品物の梱包湿度調節	登石, 見城
42・4 ~5	"	法隆寺記念館48体仏光背X線透視調査	登石
42・4 ~5	"	" 漆芸品X線透視調査	登石
42・4 ~43・3	"	東洋館照明並びに館内状態調査	登石, 見城
42・7 ~43・3	鎌倉 杉本寺, 青蓮寺	収蔵庫内調査	登石, 見城
42・11	京都 知恩院, 妙蓮寺, 高山寺, 大覚寺, 平等院	収蔵庫内状態調査	見城
43・2 ~3	"	中尊寺金色堂部材精密調査	登石
43・3	京都 知恩院, 杉本寺, 高山寺, 大覚寺, 平等院	収蔵庫内状態調査	登石, 見城
43・3	奈良 法 隆 寺	焼損壁画調査	登石

生 物 研 究 室

江 本 義 数 (非常勤)

41・4 ~	日光東照宮, 二荒山神社, 大猷院廟	国宝および重要文化財建造物の徴害と防除
41・4 ~	"	分離菌株の保存と菌の性質調査
41・4 ~	奈良 法 隆 寺	焼損壁体徴害調査
41・4	"	千葉県海岸出土丸木舟材の材種調査
41・8, 12	東京 富 士 銀 行	オリンピック旗の保存 (防徴, 防虫)
41・10	"	三宝院金銅両界曼陀羅の徴害調査
41・12	東京国立博物館	沖繩展出品物の防徴防虫

- 41・12 東京 明治神宮 鳥居腐朽の調査
- 42・3 京都国立博物館 陳列室戸棚の侵害と防除
- 42・4 京都国立博物館 陳列戸棚の侵害
- 42・4 奈良 法隆寺 金堂試作パネル侵害調査と防除
- 42・4 奈良 法隆寺 金堂焼損壁体の侵害調査
- 42・11 京都 知恩院, 高山寺, 大覚寺, 妙蓮寺, 知恩院 収蔵庫の侵害調査
- 43・2 東京 富士銀行 オリピック旗保存のため防衛防虫

修理技術研究室

立 田 三 朗 (修理技術研究室長)

- | | | | |
|---------------|----------|-----------------------|----------------|
| 41・4 | 東京都 | 木造彩色聖観音保存処置法研究 | 中里, 樋口 |
| 41・4
~6 | 川口市 | 群馬県世良田東照宮鉄灯籠修理処置法研究 | 江本, 樋口 |
| 41・4
~6 | 東京都 | 皇居板戸絵清掃剝落どめ処置調査 | 茂木, 中里 |
| 41・4
~6 | 神奈川県 覚園寺 | 宝篋印塔保存修理処置調査 | 樋口, 茂木 |
| 41・4
~11 | 京都 知恩院 | 経蔵内部彩色剝落どめ | 岩崎, 樋口, 茂木, 中里 |
| 41・5 | 東京都 | 三重県八代神社兜鍬形台修理処置研究 | 樋口, 中里 |
| 41・5
~ | 神奈川県 覚園寺 | 鉄造不動明王調査 | |
| 41・6 | 埼玉県 | 県下社寺金工品調査 | |
| 41・6 | 愛知県 鳳来寺 | 境内金工品出土品調査 | |
| 41・6 | 愛知県 鳳来寺 | 東照宮金工品調査 | |
| 41・6 | 長野県 小菅神社 | 馬頭観音保存処置調査 | |
| 41・7
~8 | 東京都 | 文化財調査 | |
| 41・10 | 神奈川県 英勝寺 | 舍利塔修理指導 | |
| 42・1
~3 | 栃木県 輪王寺 | 神像保存処置 破損諸仏調査 | 岩崎, 樋口, 中里, 茂木 |
| 42・2
~3 | 鎌倉市 | 長谷寺罎口, 妙本寺雲版, 浄楽寺鐘等調査 | |
| 42・4
~5 | 松戸市 | 丸木舟保存処置法検討 | 岩崎, 樋口, 茂木, 中里 |
| 42・4
~43・3 | | 鎌倉時代鑄造技法の研究に関する資料整理 | |
| 42・6
~9 | 宮城県 瑞巖寺 | 襖絵彩色保存処置 | 岩崎, 樋口, 中里, 茂木 |

IV 調 査 研 究

42・7	京都 浄瑠璃寺	三重塔初層内部彩色保存処置法検討	樋口, 中里, 茂木
42・7 ~8	東京都	文化財の調査	
42・9	東京都	亀山天皇銅像原型復元指導	
42・9 ~43・3	宮城県大崎八幡神社	社殿内部彩色剝落どめ調査	樋口, 中里, 茂木
42・10 ~11	京都 浄瑠璃寺	三重塔物層内部彩色剝落どめ	中里, 茂木
42・11 ~43・3	京都 東福寺	三門上層内部彩色剝落どめ	茂木
43・1 ~3	栃木県 輪王寺	板絵神像剝落どめに関する調査	中里, 茂木

中 里 寿 克

41・4 ~		中尊寺金色堂漆芸部材の修理施工記録	
41・4	東京国立博物館	国宝片輪車蒔絵手箱調査	
41・5		法隆寺宝物館伎楽面調査	石川
41・		国宝宝相華蒔絵宝珠箱調査	"
41・		" 俱利伽羅蒔絵経箱調査	"
41・		重文桐竹文蒔絵瓶子調査	"
41・		国宝沢千鳥蒔絵小唐櫃調査	"
41・9	根津美術館	重文宝相華銀平文袈裟箱調査	"
41・9		金剛峯寺木製経箱調査	"
41・11	京都 知恩院	経蔵彩色保存	樋口, 茂木
42・5 ~5	千葉県松戸市	出土剝舟の樹脂強化保存処置	岩崎, 樋口, 茂木, 立田
42・5	東京 法隆寺献納宝物館	染皮箱, 蒔絵袈裟箱の調査	石川
42・6 ~7	千葉県富津市	出土剝舟の樹脂強化保存処置	岩崎, 立田, 樋口, 茂木
42・6 ~9		瑞巖寺本堂襖絵の彩色保存	
42・9	宮城県大崎八幡宮	本殿の板壁及天井の彩色保存	
42・10	京都市 浄瑠璃寺	三重塔彩色保存	
42・12		京都市清水寺絵馬の調査	
43・1		仁和寺蔵蒔絵冊子箱の調査	石川
43・1 ~3		中尊寺金色堂乾坤柱の修理保存処置	岩崎, 立田, 樋口

茂 木 曙

41・4 ~5	宮 内 庁	旧明治御殿・青山御殿内板戸絵彩色保存処置	立田, 中里
41・4 ~5	鎌倉 覚 園 寺	宝篋印塔保存処置	樋口, 立田
41・9 ~42・3	京都 知 恩 院	経蔵彩色保存処置	岩崎, 樋口, 中里
41・11	仙台大崎八幡神社	建築彩色保存のための調査	樋口, 立田
41・11	松島 瑞 巖 寺	襖絵保存のための調査	樋口
41・12	"	" 保存のための一部処置	"
42・1	浜松 鯉 塚	遺跡の保存処置	岩崎, 樋口
42・2	松江 八重垣神社	板絵保存状態調査	
42・2	熊本 熊 本 城	舟屋形彩色保存状態調査	
42・2	生口島 向 上 寺	三重塔内部彩色保存状態調査	
42・2 ~42・3	京都 東 福 寺	三門彩色保存処置	岩崎, 立田, 中里
42・4 ~5	松戸市	合成樹脂溶液の浸漬による丸木舟の保存処置	岩崎, 樋口, 中里, 立田
42・6 ~7	富津市	" "	岩崎, 樋口, 中里
42・6 ~9	松島 瑞 巖 寺	襖絵の保存処置	岩崎, 樋口, 中里
42・7	京都 浄 瑠 璃 寺	三重塔初層内部彩色保存のための調査	岩崎, 樋口
42・9 ~43・3	仙台 大崎八幡神社	社殿内部彩色剥落どめ	樋口, 立田, 中里
42・10 ~10	京都 浄 瑠 璃 寺	三重塔初層内部彩色剥落どめ	中里, 樋口
42・11 ~43・3	京都 東 福 寺	三門上層内部	樋口, 立田
43・1 ~3	日光 輪 王 寺	板絵神像剥落どめ	
43・3	浜松市 鯉 塚	貝塚保存処置調査	岩崎, 樋口

C 主 要 研 究 業 績

①は著書, ②は論文, ③は解説, ④は研究発表, ⑤は講演・放送, ⑥はその他等の種別を示し, 題名, 発表場所(発行所, 掲載誌, 講演場所, 放送局等), 発表年・月の順序に記す。

化 学 研 究 室

岩 崎 友 吉 (化学研究室長)

③ベルギー王立文化財研究所

月刊文化財 42・12

IV 研究調査

- ④瑞巖寺襖絵の保存処置（共著） 保存科学4号 43・3
 千葉県出土丸木舟の保存処置（ 〃 ） 〃 43・3
- ⑤時の人（アラブ連合、出張の談話） NHK(I) 41・6
 樹脂加工と接着 建造物課講習会 41・8
 発掘遺跡と遺物保存の化学的処置 東京国立文化財研究所開所記念日講演 41・10
 文化財の復元 NHK-TV 41・11
 文化財修理事はじめ 紀行文学会講演 42・1
 文化財と接着 日本接着協会 42・4
 樹脂加工 事務局建造物課修理技術者講習会 42・8

江 本 義 理（主任研究官）

- ②Characteristics of Antiques and Art Objects by X-ray Fluorescent Spectrometry Archaeological Chemistry (Univ of Pennsylvania Press) 1967
- ②文化財と空気汚染 産業環境工学 42・3
 文化財保存環境としての各地の大気汚染度の測定結果 保存科学3号 42・3
 大気汚染の文化財に及ぼす影響（第5報）（共著）
 X線分析による文化財材質調査資料1 保存科学4号 43・3
 彩色土朱について 日光二社一寺修理報告書 43・
- ③大気汚染と文化財 調査季報17号（横浜市事務局行政部調査室） 43・1
 文化財の保存科学 ファルマシア Vol 4. No 1.（日本薬学会） 43・3
- ④智光曼荼羅の顔料の分析 智光曼荼羅総合研究会 41・11
 文化財の腐食について 学術振興会腐食防止第97委員会 第715回 42・2
 三溪園における大気汚染の影響調査 神奈川県大気汚染調査報告書第9報 42・3
- ⑤防 錆 文化財建造物修理技術者講習会 41・8
 修理のための科学的方法—化学的方法（その2）
 第11回修理技術後継者（美工）養成講習会 41・9
 文化財と空気汚染 産業環境工学研究会 総合セミナー 42・3
 防 錆 文化財建造物修理技術者講習会 42・8

修理のための科学的方法 化学的方法Ⅲ

第12回修理技術後継者（美術工芸品）養成講習会 42・10

樋口清治

- ②瑞巖寺襖絵の保存処置（共著） 保存科学4号，受託研究報告第19号 43・3
 千葉県出土丸木舟の保存処置（共著） " 43・3
 替為バンク三井組柱頭の科学的保存処置（共著） " 43・3
 ④木造神像二軀の科学的保存処置 受託研究報告第18号 42・3
 ⑤合成樹脂と接着 美術工芸課修理技術者講習会 41・9
 ⑥伊賀八幡神社修理工事報告書（樹脂加工の部分） 伊賀八幡修理工事報告書

門倉武夫

- ②文化財保存環境としての各地の大気汚染度の測定結果（共著） 保存科学3号 42・3
 ④三溪園における大気汚染の影響調査（共著） 神奈川県大気汚染調査報告書第9報 42・3
 ⑥大気汚染度の測定法について 日本軽金属協会 アルミニウム建築研究会 42・4

物理研究室

登石健三（物理研究室長）

- ②下地うるしの固化に関する研究（共著） 色材協会誌 41・8
 文化財に対する空調の理想 空気調和と冷凍 41・10
 文化財の輸送と梱包 博物館研究 42・1
 うるし塗膜の劣化（共著） 色材協会誌 42・2
 Alkaline material liberated into atmosphere from new concrete（共著）
 Journal of Paint Technology 42・3
 うちたてコンクリート箱内に於ける美術品の材料に及ぼす影響（共著）
 保存科学3号 42・3
 文化財の写真記録Ⅱ（共著） " 42・3

・ 調 査 研 究

- 日本顔料の温湿度による変色（共著） 色材協会誌 42・8
- 博物館照明光源の特質と蛍光灯の選択（共著） 保存科学4号 43・3
- 電気抵抗式湿度計の劣化とその防護対策（共著） " 43・3
- ③撮影時の照明 文化財事務局 42・11
- ゲルによる湿度調節 博物館研究 43・2
- ④Jet transport of art objects（論文提出） I.I.C（ロンドン大学） 42・9
- ⑤修理のための科学的研究方法—物理的方法（その二） 第11回修理技術後継者養成講習会（京博） 41・9
- 文化財の輸送と梱包 開所記念・日講演会 41・10
- conservation に関する最近の話題 明治大学 42・5
- 保存科学および保存庫について（所有者管理者）（普及課講習） 東京、奈良、大阪、京都、大津 42・9
42・10
- 修理のための科学的研究方法 物理的研究方法（美術工芸課講習） 京都国立博物館 42・10
- 保存科学および保存庫について（普及課講習）（指導者） 東京国立博物館 42・11
京都 " 42・11
- ⑥抄録報告 IIC Abstracts 41~42
- 被写体の対眼等高線群を各線につき等しい縮小率で写す写真方法 特許 41・10

見 城 敏 子

- ②下地うるしの固化に関する研究（共著） 色材協会誌 41・8
- うるし塗膜の劣化（共著） 色材協会誌 42・2
- Alkaline material liberated into atmosphere from new concrete（共著） Journal of Paint Technology 42・3
- 日本顔料の温湿度による変色（共著） 色材協会誌 42・8
- 電気抵抗式湿度計の劣化とその防護対策（共著） 保存科学4号 43・3

石 川 陸 郎

- ②平安時代漆芸品資料Ⅰ（共著） 保存科学3号 42・3

博物館照明光源の持質と螢光灯の選択（共著）	保存科学 4 号	43・3
平安時代漆芸品資料Ⅱ（共著）	"	43・3
③文化財撮影時の照明について（共著）	文化財事務局	42・11
④継ぎなかご一刀剣の偽作とX線透視—	古文化資料自然科学研究会	41・7

生 物 研 究 室

江 本 義 数（非常勤）

②洋画に発生したカビ（第二報）	日本菌学会々報	41・12
東照宮境内の建造物の防黴について	日光二社一寺文化財保存委員会報告書	42・
日光輪王寺大猷廟境内の建造物の黴害	"	42・
二荒山神社建造物の黴害	"	42・
国宝中尊寺金色堂に発生した黴と建築用材	保存科学	42・3
為替バンク三井組の柱頭強化保存処置について（共著）	保存科学	43・3
千葉県大佐和町出土の丸木舟の材質について	"	43・3
⑤洋画に発生したカビ(2)	古文化資料自然科学研究会	41・4
日光二社一寺境内の空中微生物と黴害	"	41・5
カビと洋画	東京画材顔料商業組合講習会	42・9

修 理 技 術 研 究 室

立 田 三 朗（修理技術研究室長）

松本平の磬と鰐口	「松本と安曇の話」	42・11
信濃金文年表稿	安筑郷土資料刊行会	

中 里 寿 克

②平安時代漆芸資料Ⅰ（共著）	保存科学 3 号	42・3
平安時代漆芸技法資料Ⅱ	保存科学 4 号	43・3

茂 木 曜

②木造神像二軀の科学的保存処置（共著）	受託研究報告第18号	42・3
瑞巖寺本堂襖絵の保存処置（共著）	保存科学 4 号, "	第19号 43・3

4 受 託 研 究

受 託 研 究 一 覧

年 度	受 託 研 究 事 項	研究部局	依 頼 者
昭和41年度	1 重要文化財知恩院経蔵内部彩色剥落止	保存科学部	京都府教育委員会
	2 国宝東福寺三門内部彩色剥落止	〃	〃
	3 木像神像二軀の化学的補強処置	〃	日光市輪王寺
昭和42年度	1 国宝瑞巖寺本堂文王の間の大襖8本の彩色画剥落止	〃	宮城県瑞巖寺
	2 国宝浄瑠璃寺三重塔初重内部極彩色剥落止	〃	京都府教育委員会
	3 国宝東福寺三門内部彩色剥落止	〃	〃
	4 重要文化財板絵着色日光三所権現像外2件の保存処置	〃	日光市輪王寺

国立文化財研究所研究受託規程（昭和34年4月30日文化財保護委員会告示第14号）

（趣旨）

第1条 国立文化財研究所（以下「研究所」という。）が委託により行う文化財に関する科学的調査研究（以下「研究」という。）については、この規程の定めるところによる。

（委託の申込）

第2条 研究所に研究を委託しようとする者は、第1号様式による研究委託申込書を国立文化財研究所長（以下「研究所長」という。）に提出しなければならない。

（受託）

第3条 研究所長は、前条の規定による委託の申込を承諾する場合には、第2号様式による研究受託承諾書を当該研究を委託する者（以下「委託者」という。）に交付する。

（費用の負担）

第4条 委託者は、その委託にかかる研究を実施するために必要な次の各号に掲げる費用の合計額に相当する金額を負担しなければならない。

一 国家公務員等の旅費に関する法律（昭和25年法律第114号）及び文部省所管旅費規則（昭和25年文部省訓令）の規定による旅費

二 器具機械費、消耗品費、通信運搬費、賃金その他研究に要する経費（費用の納入等）

第5条 委託者は、前条の規定により負担すべき費用を文化財保護委員会歳入徴収官の発行する納入告知書により前納しなければならない。

2 研究所は、研究が終了した結果、前項の規定により納入した金額に過不足が生じた場合には、委託者にその額に相当する金額を返還し、又は納入させなければならない。

3 委託者が第1項の規定による費用を納入告知書に定める期限内に納入しないときは、委託を取消したものとみなす。

（研究の中止）

第6条 研究所は、研究所の業務に支障があるため、又は災害その他やむを得ない理由があるため研究の継続が困難となったときは、当該研究を中止することができる。この場合において、研究所長は、遅滞なくその旨を委託者に通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、研究所は、委託者の申出によりその委託にかかる研究を中止することができる。

3 研究所は、第1項の規定により、研究を中止した結果、前条第1項の規定により納入した金額に過剰を生じた場合には、その額に相当する金額を返還しなければならない。

（研究の結果の報告）

第7条 研究所長は、研究が終了し、若しくは中止されたときは、遅滞なくその結果を委託者に報告しなければならない。ただし、研究の過程において委託者の求めに応じて中間報告をすることができる。

（研究の結果の公表）

第8条 研究の結果の公表は、研究所がこれを行う。

（損害賠償の免責）

第9条 研究所は、天災その他研究所の責に帰すことができない理由によって、研究

IV 調 査 研 究

に関し委託者の受ける損害については、その賠償の責を負わない。

(委託者の協力)

(第一号様式)

第10条 委託者は、研究所長の承認を得て、その委託にかかる研究に関し協力することができる。

附 則

この規程は、公布の日から施行し、昭和34年5月1日以後に行われる委託の申込から適用する。

研 究 委 託 申 込 書

昭和 年 月 日

国立文化財研究所長 殿

現住所

氏 名

印

国立文化財研究所研究受託規程に基づき、下記内容をもって、文化財に関する科学的調査研究を委託したいので申込みます。

記

1 題 目	
2 目的及び内容	
3 予算の範囲	
4 器具、資材等提供の有無 (品名、数量、 提供の時期等)	
5 完成希望期限	
6 公表猶予期限	
7 その他希望事項	

(第二号様式)

研 究 受 託 承 諾 書

昭和 年 月 日

殿

国立文化財研究所長

昭和 年 月 日付研究の委託の申込は、国立文化財研究所研究受託規程に基づき、下記条件をもって、これを承諾します。

記

1 題 目	
2 担 当 者 氏 名	
3 完了予定期日	
4 所要費用担当額	
5 所要費用納期	
6 提供を要する器具ならびに資材 (品名、数量、 提供の時期等)	
7 そ の 他	

5 出 版

A 美術研究

昭和7年1月創刊，昭和43年3月第253号を発行。当研究所美術部の調査研究の成果を公表するための機関誌。主として所属研究員の執筆にかかる論文，研究資料，図版解説，美術関係文献の校刊等を掲載し，ときに所外研究者の寄稿を受けることもある。A4判，各号本文48頁，原色図版1，単色図版5，各年度6冊刊行。

IV 調 査 研 究

昭和41年度（第243号～第248号）

昭和42年度（第249号～第253号，第253号は2冊合併号）

B 日本美術年鑑

昭和11年10月創刊，毎年1冊（ただし昭和19～21年版および昭和22～26年版は各1冊）出版し，昭和43年3月までに26冊を刊行した。内容は，毎年1月から12月までのわが国美術界の活動，情勢を記録するもので，美術界年史，展覧会，物故者略歴，雑誌単行図書美術文献目録，美術関係諸施設，美術関係団体，人名簿等を収録し，所内研究員の調査・執筆による。

C 保存科学

昭和39年3月創刊の機関誌で，今後年1冊の出版を計画している。昭和43年3月までに4冊を刊行した。それ以前の研究発表は，古文化資料自然科学研究会の機関誌である古文化財の科学（昭和26年1月創刊，昭和40年3月までに18冊刊行）に掲載してきた。内容は，文化財の保存と修理に関する科学的研究であって，所属研究員の執筆にかかる論文，報告等である。

D その他の出版物

美術部

支那古版画図録	（美術研究資料第1輯）	昭和7
吉備大臣入唐絵詞	（同 第2輯）	同 9
徽宗摹張萱搗練図絵	（同 第3輯）	昭 10
鳳凰堂雲中供養仏	（同 第4輯）	同 11
桃山時代金碧障壁画	（同 第5輯）	同 12
富貴寺壁画	（同 第6輯）	同 13
印度及南部アジア美術資料	（同 第7輯）	同 14
光悦色紙帖	（同 第8輯）	同 14
菱田春草	（同 第9輯）	同 15
能恵法師絵詞	（同 第10輯）	同 16

宮素然筆明妃出塞図巻	(美術研究資料第11輯)	昭和16
日本美術資料	第1輯	同 13
同	第2輯	同 14
同	第3輯	同 15
同	第4輯	同 16
同	第5輯	同 17
近代日本美術資料	第1輯	同 23
同	第2輯	同 24
同	第3輯	同 26
墨跡資料集	第1輯	同 24
同	第2輯	同 24
同	第3輯	同 26
源氏物語絵巻		同 24
黒田清輝素描集		同 24
栄山寺八角堂		同 25
栄山寺八角堂の研究		同 26
法隆寺金堂建築及び壁画の文様研究		同 28
黒田清輝作品集		同 29
東洋美術文献目録	明治以降昭和10年まで	同 16
同	続編 昭和11年～同20年	同 23
東洋古美術文献目録	昭和21年～同25年	同 29
美術研究索引	第1号～第100号	昭和16
美術研究総目録	第1号～第230号	同 40
高雄曼荼羅		同 41
東洋美術文献目録	明治以降昭和10年まで(再刊)	同 42

ほかに科学研究費補助金(研究成果刊行費)の交付を受け、または本研究所の監修で刊行された図書は次のとおりである。

光学的方法による古美術品の研究

東京国立文化財研究所光学研究班編 吉川弘文館 昭和30

IV 調査研究

梁楷		便利堂	昭和32
醍醐寺五重塔の壁画	高田 修編	吉川弘文館	同 34
平安時代世俗画の研究	秋山光和著	同	同 39
近代日本美術の研究	隈元謙次郎著	大蔵省印刷局	同 39
黒田清輝	同	日本経済新聞社	同 41

芸能部

標準日本舞踊譜			昭和35
音盤目録 1			同 40
芸能の科学 —芸能資料集 1— 四世鶴屋南北作者年表			同 41
同 —芸能資料集 2— 鮫の神楽台本集成			同 41

保存科学部

重要文化財円成寺本堂内陣彩剝落どめ

(東京国立文化財研究所受託研究報告 保存科学部 第1号) 昭和35

国宝明王院五重塔内部彩色剝落止本作業及び木材の科学的処置

(同 第2号) 同 36

国宝明王院五重塔四天柱塗装処置及び天井板彩色保存処置

(同 第3号) 同 36

国宝西明寺三重塔内部彩色剝落どめ

(同 第4号) 同 36

重要文化財東照宮内部彩色剝落どめ

(同 第5号) 同 36

国宝海住山寺五重塔内陣板絵及び彩色剝落どめ

(同 第6号) 同 37

重要文化財靈山寺三重塔内部彩色剝落どめ等科学処置

(同 第7号) 同 37

重要文化財萬福寺木額、柱聯、榜牌等剝落どめ

(同 第8号) 同 38

重要文化財舟屋形内部彩色剝落どめ

(同 第9号) 同 38

国宝興福寺北円堂内部彩色保存処置

(同 第10号) 同 39

国宝崇福寺第一峰門彩色剝落どめ

(同 第11号) 同 39

重要文化財本地堂焼損材補修材料の研究

(同 第12号) 同 40

重要文化財崇福寺三門彩色剝落どめ

(同 第13号) 同 40

重要文化財般若寺十三重石塔初重軸石剝落止め硬化処置（同	第14号）	同	40
重要文化財吉野水分神社本殿建築彩色剝落どめ	（同	第15号）	同 40
国宝薬師寺東塔内部彩色剝落どめ	（同	第16号）	同 41
重要文化財千代神社本殿の向拝手狭の保存修理にかかる保存処置			
	（同	第17号）	同 41
木造神像二軀の科学的保存処置	（同	第18号）	同 42

6 公開学術講座

美術部

昭和41年11月29日 日本経済新聞社小ホール

仏像の起源	高田 修
源氏絵の系譜	秋山 光和

昭和42年12月6日 日本経済新聞社小ホール

平安初期の彫刻について	久野 健
桃山江戸初期の工芸意匠	中川 千咲

芸能部

昭和42年10月19～20日 朝日講堂

第1日

チョボの特質	浦山 政雄
扮装様式とその背景	佐藤 道子
こしらえの技法	横道萬里雄

実演 坂東八重之助

第2日

舞台と大道具	山路 興造
タテの変遷	宮本 瑞夫
立チマワリのこつ	三隅 治雄

実演 坂東八重之助

7 開所記念日行事

昭和41年10月22日 本研究所黒田記念室

中尊寺金色堂の保存修理

関野 克

発掘遺跡と遺物保存の科学的処置

岩崎 友吉

文化財の輸送と梱包

登石 健三

昭和41年10月22・24～26日 本研究所保存科学部庁舎

本研究所保存科学部が近年行なった次の研究調査実績についてパネルを配列展示

1. X線及び γ 線等特殊光線透視撮影による文化財の内部構造と破損状況の調査例
(中尊寺金色堂ほか3件)
2. 顔料に対する赤外効果の調査例(南蛮人蒔絵の野弁当の覆)
3. 空気汚染による文化財の被害例と記録(滋賀県千代神社ほか2件)
4. 文化財の材質調査例
5. 合成樹脂による文化財の保存処置と修理例(為替バンク三井組の木造柱頭飾ほか8件)

昭和42年11月27日 東京国立博物館講堂

雪の王祇祭

佐藤 道子

黒川能の技法

横道萬里雄

実演 謡「羽衣」

上座能太夫

笈持 泉

舞「神舞」

下座能太夫

上野 左京

ほか

V 研究施設

1 蔵書

美術部 東洋古美術、近代日本美術、西洋美術関係を主として、和漢洋書を合わせて約16,100部、ほかに美術関係雑誌、売立目録類及び拓本がある。

芸能部 雅楽・能・歌舞伎・文楽・邦楽・邦舞・民俗芸能・寄席芸その他わが国の伝統芸能の研究に必要な図書2,535冊を所蔵する。演芸画報・歌舞伎新報・歌舞伎(第1次)・テアトロ(第1次)・上方・民俗芸術・日本民俗・芸能復興・郷土研究・旅と伝説等の雑誌、丸本・謡本等の台本も多数収集している。

保存科学部 古来の伝統的生産及び工芸技術書、技術史、または数少ないそれらの科学的究明を試みたもの。修理報告書、調査報告書、及び化学・物理・生物学部門の保存科学に関連ある和洋書を合わせて約600冊を収集している。

昭和41・42年度の新蔵書は次のとおりである。

区 分	美 術 部		芸 能 部		保存科学部		計
	和 漢 書	洋 書	和 漢 書	洋 書	和 漢 書	洋 書	
昭和41年度	725冊	28冊	216冊	1冊	32冊	6冊	1,867冊
昭和42年度	626	42	133	0	53	5	859
計	1,351	70	349	1	85	11	1,867

2 資料

美術部 主として写真による美術研究資料であるが、その収集の目的は、内外の資料をあまねく収集、整理、保管して、その完璧な収集箇所として美術の研究に資することである。この趣旨に基づいて設立当初から写真撮影による資料の作成をはじめ、印刷物を整理してこれに加える等その収集につとめている。資料の内容は、日本美術、東洋美術、西洋美術、および明治、大正美術に大別しさらにこれを絵画、彫刻、

V 研究施設

工芸、建築等に分類整理している。その数は特別大型のものから小型のものまで約120,000点がある。写真資料のほかに印譜、図版カード等がある。

芸能部 レコード・録音テープ・写真(35ミリ・8ミリ・16ミリシネを含む)等による芸能資料を多数そなえている。レコードには毎年各製作会社から発売される伝統芸能関係レコードのほか、昭和35年度文部省機関研究費によって購入した安原コレクションレコード5,450枚が含まれている。安原コレクションは、明治・大正・昭和三代にわたって刊行された各種邦楽レコードを網羅したもので、近代における邦楽の実態と変遷を知る上での貴重な資料となるものである。録音テープ及び写真は、雅楽・能・歌舞伎・文楽・邦楽・邦舞・民俗芸能その他の伝統芸能を対象に記録してきたもので、演奏法の解析を中心とした写真・テープ、あるいは各種文書の記録写真なども含んでいる。種別による所蔵数は次のとおりである。

区 分	レコード	録 音 テ ー プ		写 真	シネ・フィルム	
		7 型	5 型		8 ミリ	16 ミリ
昭和40年度以前	5,623 ^枚	555 ^本	190 ^本	52,000 ^点	85 ^本	2 ^本
昭和41—42年度	134	105	65	340	14	1
計	5,757	660	255	52,340	99	3

3 機器・設備

美術部

光学的研究設備

光学の鑑識法を東洋古美術品の研究に応用することは当研究所において既に戦前から企図されていたが、昭和27年度にはそれまでの予備的研究成果と海外における研究設備を参考とし、科学研究費(機関研究)の交付を受けて本格的な設備を整えるにいたった。その後も技術的な進歩に即応して新規の装置を加え、美術史学の実証的研究に多大の貢献をしている。現在の主要設備を類別すると次のとおりである。

I X線透過撮影装置

- (1) 固定式白色X線装置(100KV) 1式
- (2) 固定式単色X線装置(80KV) 1式

(対螢光板, 支持台, 防X線用衛立等)

- | | |
|---------------------|----|
| (3) 可搬式白色X線装置 | 1式 |
| (4) 可搬式ソフテックス装置(J型) | 1式 |
| (5) 携帯用ソフテックス装置(E型) | 1台 |

II 紫外線照射装置

- | | |
|---|----|
| (1) 固定式照射装置 | 2台 |
| (2) 可搬式照射装置(フィリップス紫外線ランプ125W及び専用トランス)2台 | |
| (3) 携帯用紫外線検査器 | 1台 |

III ナトリウムランプ照射装置

2台

IV 赤外線暗視装置及び間接撮影装置

- | | |
|---|----|
| (1) 双眼実体顕微鏡及び写真撮影装置 | 1式 |
| (2) 新型双眼実体顕微鏡及びカラー顕微鏡写真同時撮影装置(可動支持台及び携帯用スタンド) | 1式 |

マイクロ写真関係設備

マイクロ方式による古文化財関係基礎資料の収集調査を目的とし, 昭和36・37年度科学研究費(機関研究)により次の設備を整え, 研究に活用している。

I マイクロ写真撮影装置

1式

(付自動現像機, プリンター, 引伸機, 乾燥機等)

II マイクロ閲読機(ルーモ社製)

3台

III リーダープリンター

芸能部

各種伝統芸能の記録及び分析研究のための設備・機器を所有する。昭和42年度においては機関研究費によってビデオコーダ及び16ミリフィルム分析装置を購入した。ビデオコーダーは, 研究の対象となる各種の芸能の音と画像をテープに収録し, それを机上に備えつけたブラウン管及びスピーカーで, 同時に再生する装置で, 音と画像を常時必要な回数繰返し再生でき, 再生の速度も, 普通速度のほかに, $\frac{1}{6}$ の低速まで連続的に落せるので, 採譜や測定に有利である。16ミリ分析装置は16ミリ撮影機で記録したフィルムを分析解明する装置で, 机上に備え付けたスクリーンに, 1コマずつの映写ができ, 1コマずつ送って行ける。また秒速5~24コマ連続に変換のできる変速

V 研 究 施 設

映写や、逆転映写も可能である。これによって像の測定分析や舞踊譜その他の採譜記録を行なうことができる。

I 設 備

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 録音室 | 1 室 |
| (2) レコード資料室 | 1 室 |

II 機 器

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| (1) ビッチレコーダー | 1 台 日本電子測器K・K製 |
| (2) テープレコーダー | 5 台 (うち 1 台 (ナグラ製) 昭和42年度購入) |
| (3) ビデオコーダー
(附属品) | 1 台 ソニー社 (昭和42年度購入) |
| 9 インチテレビ | 1 台 |
| ビクチュアモニター | 1 台 |
| ビデオカメラ | 1 台 |
| 48時間用タイマー | 1 台 |
| (4) 16ミリ撮影機 | 1 台 アリフレックス社製 |
| (5) " 映写機 | 1 台 エルモ社製 |
| (6) 8ミリ撮影機 | 2 台 ベル・ハウエル社, エルモ社製 |
| (7) " 映写機 | 1 台 エルモ社製 |
| (8) 35ミリ写真機 | 4 台 |
| (9) 16ミリフィルム分析装置 | 1 台 コダック社製(昭和42年度購入) |

保存科学部

主な研究設備

装 置 名	型式又は性能	製造会社名
恒 温 恒 湿 槽	-30°~60°C	東 洋 理 科 工 業
サンシャイン ウェザー メーター	WE-SUN-HC	"
真空凍結乾燥装置		加藤万製作所
アムスラー強度試験機	500kg	東 京 衡 機
紙耐揉強度試験機		上 島 製 作 所

光電分光光度計	EP U-2 型	日 立
発光分光分析装置		(当研究所組立)
蛍光X線分析装置	D-4 型	理 学 電 機
X線回折装置およびデバイ・シェラーカメラ, ラウエカメラ		"
X線発生装置 (透視写真用)	ウエルテス-200	島 津
"	医療用愛 国 号	"
"	ソフテックスS-E	小 泉 製 作 所
真空蒸着装置	CU-6 S	徳 田 製 作 所
金 属 顕 微 鏡	PMF	オ リ ン パ ス
生 物 顕 微 鏡	LCM b i	千 代 田 光 学
"	R I t r	"
表面アラサ顕微鏡		ラ イ ツ
Co-60, γ 線線源	3 キュリー	
"	0.2 キュリー	
ガイガー・ミュラー計数装置	32 型	科 研
自記分光放射計	SR-1 型	日 本 分 光 工 業 株 式 会 社
ガスクロマトグラフ	K-53 型	日 立 製 作 所
(水素イオン化検出器・熱伝導検出器・熱分解装置付)		
回折格子自記赤外分光光度計	I R-G 型	日 本 分 光 工 業
" 赤外顕微鏡	I P M-3 型	"
引張試験機	5kg MK S 型	丸 菱 科 学 製 作 所

文化財の特殊性として、材質の劣化現象究明のための試験機類、非破壊的方法による材質調査のための分析機器類、及び微量試料の分析、調査などに用いる顕微鏡類などがある。

4 黒 田 記 念 室

この記念室は、本研究所の創立者故帝国美術院長子爵黒田清輝の功績を記念するために設けられたもので、その油絵、素描、画架等を陳列している。

収蔵されているものは、油絵125点、素描170点、スケッチブック等若干である。これらは創立当時主として黒田家から寄贈されたものであるが、その後、樺山愛輔、黒

V 研 究 施 設

田照子、田中良等からの寄贈もふくまれており、随時陳列替を行なっている。毎週木曜日午後1時から4時まで一般に無料公開している。陳列品の主なものは、「知感情」、「花野」、「湖畔」、「赤髪の少女」、「もるる日影」、「温室花壇」等である。

黒田子爵記念室観覧規程

第1条 本研究所の黒田子爵記念室（以下単に「記念室」という。）は、この規程によって一般に公開する。

第2条 観覧は無料とする。

第3条 観覧者は、備付けの帳簿に現住所、氏名を記載し、掛員の指示を受けるものとする。

第4条 陳列品の模写又は写真撮影を希望する者は、予め書面により届出で許可を受けなければならない。

第5条 観覧者は、記念室内において左の事項を行ってはならない。

- 一 陳列品に手を触れること。
- 二 インク、墨汁等を使用すること。
- 三 飲食及び喫煙をなすこと。

第6条 観覧者がこの規程に違反し、又記念室公開の趣旨に反する行為があると認めるときは、退場を命ずることがある。

第7条 観覧の日時は毎週木曜日午後1時から同4時までとし、観覧を停止する日は左の通りとする。

祝 日

開所記念日（10月18日）

年末年始（12月25日から翌年1月6日まで）

夏期（7月21日から8月31日まで）

第8条 本研究所において必要があるときは、前条の日時を随時変更することがある。但しこの場合は予め掲示する。

5 関 覧 室

本研究所美術部の図書及び研究資料は主として研究者、学者、美術関係専攻の学生等に公開している。年間の関覧者数は、延1,200名程度である。

昭和43年10月28日 印刷
昭和43年11月1日 発行

非 売 品

発行者 東京国立文化財研究所

代表者 関 野 克

東京都台東区上野公園12-53

印刷者 大 蔵 省 印 刷 局